滿洲日報

聯盟總會の召集には わが代表部斷然反對

十六日に公開理事會

【ジュネーヴ十四日發】上海問題に關する聯盟總會召集に關し日本代表部は手續問題を理由として斷然反對の態度に出づるものと觀られてゐる、但し萬一總會が召集される曉に於て日本は聯盟より脫出するであらうと脅迫したと云ふ樣な說に對して日本代表は之を否定してゐる、又支那代表顏惠慶は聯盟規約第十五條九項採用の期限に關し昨日事務局に送達した書翰が無期限に其の權利を留保する效力あるものにあらざる事を傳達したと、尙明十五日には日支兩國代表を加へて非公式理事會を開會して善後策を協議すべく又公開會議は多分明後十六日になるであらう

陸相外相重要協議

【東京十五日發】荒木陸相は十五日午後六時十分外務省に芳澤外相を訪問陸軍兵力の上海上陸に關する英米佛三國並に聯盟方面の態度につき說明を聽取後、其の後の上海方面より達した情報に基き同方面の情勢は金澤〇團の上陸後も十九路軍は我軍の要求する地域までの撤退には容易に應諾する模樣も見えず却て戰備を整へてゐる有樣で陸軍としては兹數日の情勢の推移如何では更に相當兵力を增兵する決意を爲すの止むなき事態になる惧れもあるので萬全の處置を考究してゐる旨を述べ今後の方策に就き種々重要協議を行ひ午後七時辭去した

外相五國大使こ懇談

【東京十五日發】芳澤外相は十五日午後四時より外務省に英米佛伊獨五國大使の來訪を求め上海事件に關し陸兵派遣に至れる事情上海の事態に關し詳細に說明會談は一時間にして終つた

我海軍衝突事情聲明

調査委員の報告に關し

【東京十五日發】國際聯盟に報告された上海原地調査委員報告は支那側の宣傳に乘つて事實と相違の點があるため海軍は十五日左の聲明をなした

一、上海原地調査委員の報告では日本から攻擊を開始したかの如く報告されて居るが事實は二十九日午前八時より日支間に停戰協定をなせるにかゝはらず支那側便衣隊の活動歇まず三十日午前五時二十分より約一時間半裝甲列車野砲機關銃を以て支那軍は猛擊して來た、然し我軍は約を守り攻擊を加へなかつた、三十一日中立地帶協定成立まで停戰に決したるによる、しかるに十時頃便衣隊約二千機關銃小銃拳銃を以て猛擊せるのみならず一日午前一時廿分と同四時四十分の兩度支那は約に反し北停車場より攻擊して來たため我れは支那の不信にやむなく應戰し同五時沈默せしめたものである

租界使用問題で回答

使用せずば防備も不可能

【上海十五日發】英、米、伊三國總領事は村井總領事に宛てた書面で租界を軍事行動に使用せぬ事を希望し來りたるに對し村井總領事は現在各國警備軍の前例もあり租界の使用を中止することは共同租界の防備任務を全うする上からも不可能であり原則として之を考慮すべきも實際上租界に迷惑を掛けぬ程度に注意する旨婉曲に回答した

植田〇〇長も釋明

【上海十五日發】植田〇〇長は今朝十時喜多大佐以下幕僚を從へ領事館の守屋書記官の案內で英米佛司令官米國首席領事カンニンガム氏及び工部局のマクーデン氏等を歷訪した、右は工部局及び各國總領事が書面を以て我總領事館に對し日本陸軍が租界を軍事行動の策源地とするとの意味を抗議して來たに對し一々これに釋明し、日本は決して戰爭を好むものにあらず支那が挑戰的態度に出たのでこれに對し居留民保護の爲め必要なる手段をとつたに過ぎない旨說明諒解を求むる爲めである、尙重光公使は今朝九時植田〇〇長、野村司令長官を訪問し重要協議を遂げた

支那側積極行動繼續

對日戰意は疑ふ餘地なし

【上海十五日發】孫科、陳友仁等上海中央執行委員二十四名は政府に徹底的武力抵抗、上海への增兵、滿洲に飛行機爆擊をなし日本軍の即時撤退を要求し上海事件と滿洲問題を不可分として交涉することの決議電報を發したしかして第十九路軍の一部には南下して交代を欲する者有るも蔣廷黻等猶り依然頑張つて居るといはれまた總司令部入電によれば南京方面の陣地工事は數日來急に嚴重となり蔣介石の對日戰意は最早疑ふの餘地なきに至つたと、かくて支那側は各方面とも依然積極行動を續け平和的解決は望み難い狀態にある

【漢口十五日發】第十九路軍援助の名目で廣西から北上して來た張發奎軍先發隊約一千名は既に湖南省內の某地に到着した該軍若し武漢を通過せば衝突起る惧れあり漢口領事團は深甚なる注意を拂つてゐる何成濬は何鍵と連名で十四日同軍に「北上を見合せよ」と通告すると共に同軍の漢口通過に反對し中央政府に阻止運動をしてゐる

【北平十五日發】山西兵工廠及び山東兵工廠は最近何れも兵器彈藥類の大量生產を開始した右は閻錫山韓復榘の命令によるもので蔡廷楷第十九路軍を援助するためと言つて居るが眞の目的は兩名の北支乘出し準備のためと觀られて居る

平和解決困難

十九路軍撤退望みなく

【東京十五日發】第〇師團の上海上陸により同地方に在る第十九路軍の今後の態度は最も注目されてゐるが陸軍當局の意向では

一、上海近郊は縱橫に河川、湖沼等があつて我軍の作戰兵進上に不利である

一、第十九路軍は陳銘樞麾下の廣東系部隊にして最も頑強であり

一、支那軍には獨逸ドイツ人等作戰に參加して居る

等の事情から第十九路軍が我軍の要求に從つて一定距離地點に撤退し事態を擴大せずして平和裡に解決し得る事は十四日迄の情勢では不可能と觀られるので、今後愈々我軍が實力を行使する場合、事態は相當擴大化すると共に相當の苦戰も豫想されるため陸軍中央部では斯る場合の〇〇の增加等についても考究して居る

殷汝耕氏等我總領事館訪問

【上海十五日發】殷汝耕は今朝十時半何應欽代表を伴ひ日本總領事館を訪問、田代參謀長等と時餘に亙り會談を遂げたが右は支那側が日本陸軍の來着を恐れて停戰の游きを入れに來たもの、如くである

新國家建設を討議すべき

最高政務委員會設立

奉天の巨頭會議と方針

奉天省長臧式毅、吉林省長熙洽、ハルビンの張景惠は本日午後城內において新國家建設に關し三巨頭會議を開いた結果黑龍江省長馬占山の來奉を待つて大體左の順序により新國家建設に着手する事に意見の一致を見た

十六日馬占山來奉するや直ちに臧、熙、張、馬四首腦代表會合して新國家建設を討議すべき最高政務委員會を設立す

一、臧、張、熙、馬の各省代表は十八日頃迄に滿蒙の獨立宣言をなし南京政府、學良政權に通達すると共に中外に聲明す

一、熙、張、馬三巨頭は最高政務委員會に於いて新國家建設の大體方針を協議した上廿日頃一と先づ歸奉の旨す

一、熙、張、馬三巨頭は滿省後民衆に新國家建設の方針を示し各地方團體と協議の上民意により理想鄕滿蒙新國家を組織す【奉天電話】

馬占山赴奉

十四日長春にて赴奉の熙洽長官と別れた臧省長の特使奉天省財政廳長兼秘書長趙鵬第は同日午後十時二十九分長春發東支列車で赴哈、十五日張景惠と會見し臧省長の意を告げ更に熙長官の旨も通じたので、張景惠は赴奉を決意し十五日午前十時ハルビン飛行場發飛行機で奉天へ出發午前十一時長春上空を通過した、又馬占山氏も十六日南下の豫定であるが、この東北四省の巨頭奉天集合で滿蒙新國家建設は急角度に成立發表を見るものと觀測されてゐる【長春電話】

各巨頭の往來

昨夜來奉ヤマトホテルに入つた吉林省長熙洽は直に臧省長を奉天城內に訪ひ二時半に至る迄新國家建設問題につき熟議を重ねたが今朝十一時更に省政府に臧省長を訪問本日來奉した張景惠、明日來奉する馬占山の到着を待つて開催さるべき新國家建國會議につき協議を重ねた、また十五日午後來奉した張景惠氏は午後一時から趙奉天市長の訪問を受け約一時間に渉り懇談、新國家建設に關する種々打合せをおこなつた【奉天電話】

長春で最後的會議か

市政府の慌しい光景

十四日吉林長官熙洽の奉天入りを皮切りに十五日は張景惠の奉天入りとなり十六日は馬占山の奉天入りとなるがこれは滿蒙平和の大恩人である本庄軍司令官に挨拶が勿論であるが各巨頭が同時に來天へ集つた事は滿蒙新國家樹立の機運熟したためでその最後的意見の交換が巨頭の間に行はれることは當然である、然しこの奉天巨頭會議が最後の決定を與へるかどうかは疑問である、それは一兩日前より長春商埠地市政府公署の會議室を始め控室、待合室その他の大修理を加へられ嚴冬をダルマストーヴで過されたにも拘らず今日ダルマストーヴがペチカに改造され絨毯が新しく換へられ天井が塗り換へられてゐる、而して市政公署內の大修理を終るのは二週間の豫定さいふから早くも三月に入つて同所內で巨頭の顏合せを見るであらうと思はる、隨つて奉天に集まつた巨頭の奉天引揚げは案外時日の內であらうと觀測されてゐる【長春電話】

ここは最後の巨頭會議を行ひ新國家樹立の日を決定し光輝ある新政權の公布をなすの前提に非ずやと觀られてゐる

黑龍江省長馬占山就任

【ハルビン十五日發】馬占山は十七日頃黑龍江省長就任を宣布する模樣である

奉天省商議聯合會

奉天省商議聯合會は本月二十五日より二十九日まで奉天に總會を開催し新國家建設に關し討議することゝなつた【奉天電話】

わが軍全線に總攻擊

敵の陣地大動搖を來す

【上海十五日發】皇軍大部隊の上海上陸が敵の全線に知れわたりしもの、如く朝來敵陣地動搖を來し柳營路の敵は西方に向け後退江灣驛の敵は眞西に向け退却を開始したので皇軍はこれが殲滅を期し午前十時全線攻擊に移るに決し各部隊は全線に急送され我が〇〇隊は新來陸戰隊野砲の援護の下に江灣方面に進擊を開始した

【上海十五日發】吳淞の敵は西方に移動せしに反し閘北方面の敵は午前十時頃より俄かに活潑となり迫擊砲彈は目下陸戰隊本部附近に落下しつゝあり爲めに自動車運轉手一名重傷を負ひトラック三臺大破された、目下なほ落下を續けつゝあり我軍は野砲を以てこれを砲擊中

三國公使我意嚮を探る

【東京十五日發】英米佛三國駐支公使が十二日南京より上海に到着して以來重光公使との間に屢々往復が行はれてゐるが右に關し十四日外務省に到達したる重光公使よりの報告に依れば英國公使ランプソン氏、佛國公使ウイルデン氏との數回に亙る會見は何れも公式にも非公式にも調停案を提示したものでなく日支兩國間に何等か斡旋する餘地なきやに關し日本側の意向を探りに來たものに過ぎず重光公使は其際日本政府の立場を詳細說明すると共に日本政府は支那本土において一切領土的野心を有せず又一部に傳へらるゝが如き駐兵居留地等の設置を欲するものでない等の點を說明した模樣である尙支那軍の一定地點撤退は絕對先決條件である旨力說した

が支那側から如何に泣きを入れに來ても我軍の要求通り支那軍が一定距離以外に撤退せざる限り我軍の態度は依然變る所なく從つて支那側の要求は一蹴せられるものと觀られてゐる

米陸軍武官陳繼承と會見

【洛陽十四日發】アメリカ陸軍武官ダブリュー・ジー・ワイマン中尉は本日北平より洛陽に到着後警備司令陳繼承と會見する筈

英米守備交代

【上海十四日發】共同租界中イギリス義勇隊を以て守備してゐた北停車場前より河南路終點に至る地區は十四日からアメリカ軍の守備と代つた

部落民避難

【上海十五日發】十四日〇〇〇隊の到着に依り遠東體育場附近の部落民は續々避難し始めたので同〇隊長は住民の不安を取除く爲「日本軍は寸毫も侵す意志なきを以て避難の要なし」と傳達した

廣東軍飛行機續々東方に飛ぶ

【東京十五日發】海軍省着、十五日午前十時廣東軍飛行機五機は長沙を發し東方に向つた、亦十時三十分廣東軍飛行機二機更に東方に向へり

馮軍の大刀隊上海へ出動

【南京十五日發】第五十四師の一部隊と馮玉祥の大刀隊は十四日夜上海に向つた、砲兵隊は移動する模樣なし、市中人心稍落附き平穩である

わが海軍の爆擊に

吳淞の支那兵退却

我軍は追擊を行はず

【上海十五日發】午前十時三十分頃より天通庵路西方の敵は迫擊砲を以て盛に我警備區域內を攻擊し來り本部西門前に敵の迫擊砲彈落下し兵二名負傷その他租界數ヶ所に數彈落下したので我軍は直に野砲、山砲、曲射砲を以て應戰十一時過ぎ之を沈默せしめ一旦砲擊を中止したが其の後零時半より敵迫擊砲の射擊を警戒の爲め緩漫なる砲擊を爲しつゝあり

【吳淞十五日發】早朝より我海軍の猛烈な爆擊に依つて退却を開始した吳淞河對岸の敵軍は我砲擊彈の猛射を浴び莫大なる損害を蒙り河岸より三百米後方塹壕內に逃げ込んだ之に對し我軍は追擊を行はず後方陣地の整理を爲し敵軍よりの射擊も一時杜絕し吳淞戰線も目下異常なし我兵士は思ひ〳〵に故郷への便り書く者や出張のウドン屋に賑なラクラス者もある、天氣晴朗江岸の春漸く萌えつゝあり

前線將士激勵

【吳淞十五日發】張華濱機關庫にある〇隊長は本日午前十時から約一時間吳淞西南方〇〇の〇〇隊の占據警備區域第一線の視察をなし前線將士を激勵した

各部隊に待機命令が下つた

我運送船〇隻上海へ向ふ

【上海十五日發】本日午前六時吳淞方面の敵陣地を空軍と呼應して攻擊した我夕張は煙霧深く小波だにな川面をフォアマストに日章旗を高く靜かに艦へし入港して來た三千噸以下の運送船〇隻の吳淞港口通過を掩護射擊した運送船は七時十五分砲臺前を無事通過し上陸地なる上海へ行つた

支那兵舍火災

【吳淞十五日發】十五日早朝より吳淞砲臺千米突前方の地點にある支那兵舍は我軍の攻擊により火災を起したが午後に至るも黑煙濛々と空を覆ひ今なほ燃えつゞけてゐる

海軍省着電

【東京十五日發】海軍省着、十五日午前六時第〇艦隊七隻の通過に先立ち行ひたる第三艦隊各艦の猛擊により敵陣地を震駭せしむ飛行機之れに策應す各艦の驅逐なる掩護により第〇艦隊なして午前七時三十分より同十時迄の間に一彈をも蒙る事なく水道を通過溯江せしめたり敵兵千數百名は我猛擊に堪へず午前八時頃より自動車トラック等により陸路並及び楊家屯方面に向つて退却を開始したるなり

作戰の都合上總攻擊延期

【上海十五日發】吳淞における敵部隊の後退は潰走すると見せて兵力の集中を行つてゐる模樣なので我が軍は作戰の都合上總攻擊を一時中止することゝなり午前十一時

わが部隊緊張

【上海十五日發】昨十四日夕刻遠東體育場に到着場內に宿營せし〇〇隊は本朝來前方一里江灣の敵さ對峙し塹壕を構築通信連絡兵站部の輸送等水も洩らさぬ準備をなし待機中である

乘馬隊に護られ今朝七時半淮山碼頭着、直に上陸を開始した、元氣旺盛、上陸と共に各部隊隊伍堂々楊樹浦競馬場方面に向つて行進を開始した

支那側清凉山に防備工事

【東京十五日發】南京十五日發海軍省着電＝當地に支那飛行機七機揚子江上流方面より到着、數日來清凉山に大工事を起し十四日獅子山砲臺の防備を嚴にしつゝあり又我陸軍武官より張發奎軍の來京阻止方を勸告せるに同軍は來京せざるべしとのこと、鎭江にて士官二名を公安局に派しその歸途午後四時日清ハルク附近にて三百の群衆に包圍され暴行を受けたが無事である

後續部隊上陸

【上海十五日發】第〇〇〇後續部隊は〇〇丸、〇〇〇丸等七隻に分

臨時樞府本會議

事變費緊急勅令案原案通りに可決

【東京十五日發】事變費に關する緊急勅令案を上諭すべき臨時樞府本會議は十五日午前十時から宮中東溜の間で開會され、倉富、平沼正副議長以下各顧問官、二上翰長政府側から犬養首相以下各大臣、島田法制局長官以下各關係官參列した、天皇陛下親臨あらせられるや、倉富議長開會を宣し十二日の審查委員會で決定せる左記御諮詢案を上程した

一、滿洲事件に關する經費支辨の爲め公債發行に關する緊急勅令案（今年三月末迄の上海事件費及び一部滿洲事件費に充てる爲め陸海外務三省を合し三千四百萬圓に限り公債を發行し、又は借金を爲すもの）

右に就き金子委員長から委員會の經過並に結果を報告後審議議決に入り異議なく原案通り可決散會、天皇陛下には入御遊ばされた

緊急勅令公布

【東京十五日發】滿洲事件費公債支辨緊急勅令は十五日官報號外勅令第十四號を以て公布された

緊急勅令全文

【東京十五日發】滿洲事件に關する經費支辨（主として上海事件費）に關する緊急勅令の全文左の如し

滿洲事件に關する經費支辨の爲め政府は昭和七年勅令第六號の規定に基く金額の外三千四百萬圓を限り公債を發行し又は借入金を爲す事を得、前項の規定に依る公債の發行再檢查減額を補塡するため必要ある場合に於いて前項の制限以外の公債を發行し又は借入金を爲す事を得

附則 本令は公布の日より之を施行す

今後の事態如何で上海に新軍司令官

【東京十五日發】上海派遣軍は植田〇〇師團長の上海上陸で今後陸上部隊の（〇〇〇混成〇團並に海軍陸戰隊）總指揮は同師團長の指揮に依り行はれるが軍名は依然師團長として今後事態の推移に依り增兵する場合は軍司令官を設置する意向である

海陸最高首腦部會議

【上海十四日發】我陸海軍最高首腦部會議は本日午後某所で開かれ敵軍攻擊に關する協定を遂げた、其の結果我陸海軍共同の攻擊が近く開始されると觀られて居る

海軍々事參議官會議

【東京十五日發】海軍では十五日午後一時より海相官邸に軍事參議官會議を開き伏見軍令部長宮殿下東郷元帥、その他海軍出身各軍事參議官、大角海相以下參集、豐田軍務局長よりの上海事件の經過並に海陸軍の共同行動協定等を說明した

海陸共同作戰協議

【東京十五日發】高橋軍令部次長は午前十一時參謀本部に眞崎次長を訪ひ約一時間上海に於ける海陸共同作戰に就き協議した

陸軍首腦會議

【東京十五日發】眞崎參謀次長は十五日午前九時二十分荒木陸相を訪ひ上海派遣兵今後の處置その他重要問題につき協議した

英首相療養

【ロンドン十四日發】首相マクドナルド氏は過般來眼の治療を受けてゐたが本日醫師から更に三週間絕對休養の宣告を受けた

滿蒙の大曠野を護る空の勇者

◇＝航空機の威力はどんなものか＝◇

遞信局航空官 加藤正義氏の話

今度全滿日本人の醵金によつて飛行機「滿洲號」が建造されるさうですが、私は在滿邦人の一人として誠によろこばしく思つてゐます かつて歐洲大戰に於て空軍の威力は屢々實證されましたが、今度の滿洲事變でも私どもは飛行機の威力の大きい事を親しく見きゝして居ります、殊にあの廣いそして交通機關のほとんどない滿蒙の大曠野を護るにはどうしても

＝航空機＝

と自動車の力にまたねばならないと感じて居りますので、昨今日本人全體に航空熱の勃興して來たことはよろこびに堪へません、今度の事變によつて支那側でも飛行機の重要性をより痛切に感じたやうですからきつと近い將來に支那でも航空問題がやかましくなることだらうと思ひます、いづれにしても今後はいろいろと航空機の力にまつ事が多くなるでせうし、遠からず全世界をあげて航空機時代を現出するだらうことは想像出來ます、さて航空機といつても飛行船、輕氣球、飛行機等いろいろあつて前二者は空氣より輕い氣體によつて空に浮びますが、飛行機は空氣よりも重いものが機械の力によつて空中をとぶものですから非常に早い

＝速力を＝

要するのです、これを一括して飛行機と申しますがその飛行機にも軍用機があり、民間機がありこれも亦その用途によつて幾多の種類にわかれてゐることは皆さんも御存じの通りです、機構や型から見ましても普通の飛行機は單葉式のものですが、研究の初期には撲翼式の飛行機(オルニクプター)や竹とんぼの原理を應用した螺旋式飛行機(ヘクコプテル)等がありました、オルニクペテルもヘリコペテルも唯今では實用に使はれてはゐませんが最近この兩者をあはせたやうなオートジロが出來てアメリカ邊りでは相當

＝實用化＝

されてゐるやうです、又翼の數から見ても單葉式があり一葉半式があり複葉式多葉式といろいろですが經濟上或は技術上の理由から將來は單葉式のが殖えるだらうと思ひます、一方發動機もたつた一つのもあれば二つ或は三つ若くはそれ以上の發動機を裝置した馬力の大きい飛行機があり、片方では全くスポーツを主體とした無發動機式飛行機(グライダー)が世界各地に研究されてゐるといつた風で、今後飛行機はますます其の用途が多方面に亘るにつれていよいよ多種多樣な飛行機が造り出されることゝ思ひます、このごろ私共が一番注目してゐる

＝軍用機＝

にしましても空中戰鬪を主なる任務とする戰鬪機、敵狀偵察、寫眞、無線、砲兵觀測等に從ふ偵察機、爆擊の任務をもつてゐる爆擊機、飛行術を演練するための練習機、魚雷を發射する雷擊機などがありましたが滿洲事變によつて兵員や軍需品の輸送に從事する輸送機、傷病兵の輸送をする病院機なども亦その重要なことを立派に證據立てました、爆擊機の威力、投下爆彈の恐ろしさは皆さんも既に御存じでせう、もし二百瓩の爆彈を一つ落されたらあの大連驛などどこへフッ飛んだかわからなくなるでせうし、その程度のものを五六個も落されやうものなら大連の主要な部分はたちまち

＝粉微塵＝

にされてしまふでせう、しかも飛行機は大空を右に左に上に下に自由自在に飛翔するのですからその恐ろしさは到底陸軍や海軍の比ではありません、この空からの侵入者に對しては高射砲はほんの川向ふの火事にポンプをかける位の力しかありませんからこゝに敵機の襲來をいち早く迎へ擊つために優れた速力と武力とをもつた馬力の強い小型飛行機卽ち迎擊機の必要が認められて來たわけです、爆擊機一臺の威力を或人は步兵一個聯隊と比較し或人は殆ど一個師團に等しいと見て居りますが、この比較にはいろいろな

＝條件を＝

基準としなければなりませんからさう簡單には比較出來ません、で飛行機一臺拵へるのに一體いくらかゝるかと申しますと普通日本で軍用機を造るやうに比較的大量生產の場合には輕爆擊機で十萬圓前後、重爆擊機で十五萬圓、戰鬪機が五六萬圓通信聯絡用ので五萬圓前後、旅客機程度の輸送機なら七八萬圓程度です、しかしこれは大量生產の場合ですから一臺や二臺作る時にはずつと單價が上りますし、戰時になると材料が不足して諸物價が騰貴しますから少くともこの三倍位を見積らなければなりません、ことに何か新らしい機構のものを造らうといふ場合には想からぬ

＝研究費＝

もかゝりますからなかなか一樣には行きません、又飛行機をとばすためには飛行場、道具、油、人員等少からぬ費用を見積つてかゝらなければなりませんから飛行機一臺作ることも決して容易な事ではありません

美貌の人となるには讀書を勵みなさい

お化粧は顏だけでは完成せぬ　では、何ぜでせう?

化粧といへばすぐ顏を連想するものですが化粧は顏だけに限つてゐるのではありません、と云つても顏と直感的に誰もが考へさせられるのはこの顏に五感が集中せられて居り顏を見ればその人の人格が大部分理解されるものですから人の注意は自然人の顏に注がれるためお互に顏の裝飾といふ事に熱心に手を入れる事になるのです、然し私たちが顏面を化粧したからと云つてそれが化粧の全部を完成したと云ふわけではないのです。

▼◇▲

私どもの生來の顏も一寸の手入れの仕方では恐ろしく違つて來るもので例へば髮の結び方や、眉の剃り方などで人の顏も急に變化し今まで醜い格好をしてゐた口許も齒醫の手術をうけた結果驚くほど見違へた美しい口許になり顏全體の調和がよくなつたなど、一寸した手入れによつてその醜い顏も相當美しく化粧されるものでこの樣に化粧は白粉を塗つたり或は高い香水をプンプン漂はせ或は美顏術を施すといつたことだけが化粧ではないのです、英國の有名な小說家は「美しくならうと思へば婦人はどうしても讀書せねばならぬ」と云つてゐます、最近の賀川豐彥氏の著書衣裳と化粧の中には次の樣な事が書かれてゐます。

▼◇▲

適度の顏面筋肉の運動を絕えず行はれなければ美は決して保たれないものである、娘時代醜い顏であつた者も結婚期から猛烈に勉強を始めて中年以後になつてから實に美しい引きしまつた顏をして來る。これは全く勉強した事によつて顏面筋肉の緊張がその人の顏にしまりを與へるのでこれと同樣適度の勞働は顏に美しさを與へることゝなりますが、化粧はたゞパウダーとかルージだけでは眞の化粧はできないものです

▼◇▲

これと同樣に眼の美も同じで無學の人の目が勢ひなくドロンとしてゐるのは眼筋運動が練習されてゐないからで叡智に輝いてゐる眼は眼球の筋肉が一定の方向を示し鋭敏に活動するために一種の鋭さがあるのです、意志の強い人は口許に締りが出來てゐて口許の周圍に集つてゐる筋肉に力強い表現を現はしてゐます。

▼◇▲

花柳界の婦人の頰にしまりがないのは顏面筋肉にたるみのある生活をしてゐるためで頰の筋肉が全部ゆるんで少しも緊張してゐないからです、この樣に白粉や紅を塗ると同時に顏面筋肉を緊張させると云ふ事は美を作るうへに隨分大きな意味を持つものです。

◇◇ ロースト ポーク

斯うして發見

▼…未だ豚肉百匁三十錢なんてしなかつた頃、いや貨幣なんて無くて民は鼓腹擊攘してゐた堯舜の世の支那の話です、父と子と二人きりの百姓がありました。或る秋の朝父は例の通り畠に出かけて子供はひとり家にゐました。お午近くなつたので火を焚いて御午飯の仕度をしてゐました。フト見上げると澄み切つた空に雁が列になり棹になりして渡つてゐます、子供はすつかりそれに氣をとられてしまひました

▼…すると大變です、かまどの火があたりの枯草にうつり續いて豚小屋に燃えうつりアツといふ間に豚小屋一面に火が廻つて大事な大事な豚は黑焦げになつてしまひました。子供は大聲に泣きながらこのことをお父さんに知らせやうとかけ出すはずみにつまづいて黑焦げになつた豚の上に手を突きました「アッ熱い!」と我知らずその手を嘗めました。と、どうでせう、その味のおいしいこと、今迄泣いてゐた子供は何もかも忘れて豚を貪り喰べました。やがて野良から歸つて來た父親の顏を見ると子供は何も云はずに燒死んだ豚の肉を父の口に押込みました。父親もこんなおいしい物ははじめてでした。

▼…これが人間があのおいしいロースト・ポークを發見したそもそもの初めださうです。

◇　◇

陶磁器の見分方

▽…陶器と磁器とはどうちがふのでせう?或る人は土で作つて燒いたものが陶器で石の粉をこれて燒いたのが磁器だといひ、或る人は質のやはらかいのが陶器で硬いのが磁器だと申します、しかしこれはどれも間違ひで、元々陶器磁器といふ名はその原料によつてちがふのでなく出來上つた品物の性質によつてちがふのでなく出來上つた品物の性質によつて名つけられたものなのです。

▼…で、手にとつて透して見てすいて見えないものが陶器ですいて見えるのが磁器なのです、又はぢくか叩くかして見て澄んだ音のするものが磁器で濁つた音の出るのが陶器なのです、又陶器は多少水を吸ひますが磁器は全く吸水性がありません。しかし實際には陶器か磁器かはつきり區別の出來ないものも澤山ありますからこれは比較的な話しになります、こゝに一二の例をあげますと京都の清水燒や會津燒、九谷燒のやうなのは磁器で淡路燒、出雲燒、滋賀の樂燒などは陶器であります。

㊀バゾクタチノマヘデイキナリテンチモヒビケトバカリバーントオホキナオトガシタ

㊁ヤットマッシロイケムリガキエルトバゾクタチガウマゴトドコカヘトンデイッテシマッタ

㊂サイワヒセウニンダケハトホクニヰタノデタスカッタガアマリオホキナオトデコシガヌケタ

㊃イクラタタウトオモッテモカラダガウゴカナイタイチャンヲミテタダラヲアワセテオガムバカリ

滿日各地版

一向に芳しくない本年度の就職戰線 男子卒業生の悩みに反して女なるが故の朗かさ

【旅順】學びの庭にいそしむのも僅か一ヶ月だ、旅順工科大學を始め一中、高女等に於ても目下卒業式や修業者の成績調べから卒業後への志望に就いて懸命な努力を拂つてゐるが相變らず就職線異狀ありで一向喜ばしい便りが無い工大の如きも例年なら滿鐵から機械電氣科方面から五六名の採用があるが本年は全採用數が機械科五名電氣採鑛各二名宛と云ふので前途大に悲觀の體である同大學本年三月卒業すべき年級の學生としては機械科二十一名、電氣科十五名採鑛、冶金科各四名都計四十四名の豫定であるが從來の例から推すと此內上る者は四五名ある見込で學校當局も行政整理を目前に控へ頭を惱ましてゐる、又旅順中學の本年度卒業者は總計八十四名の豫定であるがその內上級學校への志望者を見ると

▲體操學校一名▲高等學校十名▲工業専門十一名▲私立大學二名▲滿鐵教習所五名▲海軍機關學校一名▲工大八名▲醫大七名▲遞信講習所八名

の外齒科醫專、海軍兵學校、藥專、高等商業、高等農業、高等工業、廣島高師、北京大學へ各一名でその他實業方面へ十六名の志望者があるが未だ此方面へは全然見込立たないので猛烈な運動が續行されてゐる、然し女學校方面に行くと全く違つた空氣で四年生から上級學校への志望別を見ると

▲東京女子高師六名▲奈良女子高師四名▲日本大學同上▲共立女子専門同上▲其他京都府立女子専門、東京女子大學、帝國女子藥學専門、東京女子醫専、東洋女子齒科醫専等各二名宛▲又女子高等學院、臨時教員養成所、體操學校、女子美術、大妻技藝其他へ各一名宛

で既に入學決定した者は八名あり引つゞき補習科乙部へ進む者九名同甲部へ進む者十四名、五年生へ進む者十六名を算し卒業後就職の志望者は滿鐵又は關東廳方面へ十三名あるが大體に於て採用される模樣であると

兵匪團と交戰し公安隊全滅 鐵嶺東方に兵匪團

【鐵嶺】十一日午前六時半頃當地東方三邦里楡樹屯に約二百騎の兵匪襲來せるを以て同地公安分所長は公安隊自警團四十名を指揮して防戰大いに努めたるも賊團の爲め壓倒せられ北方の山上に避難せるも追擊急にして遂に包圍せられ全員悉く武裝を解除された上分局長は人質として拉去され賊團は公安隊の銃器四十挺を始め全部落を掠奪し尚村公所に五日間に現大洋三千元を提供すべし若し應ぜざれば再び來襲全村を燒拂ふと威嚇し十一時頃東南に引揚げたが部落民は雪崩を打つて熊官屯(當地東方二里)に避難し一時は熊官屯にも襲來說傳へられ悔々たるものがあつたが幸ひ無事なるを得た

軍馬を慰問

【奉天】奉天婦人會では十四日午後人參三千本と共に奉天駐劄步兵第廿九聯隊を訪れ軍馬の慰問をなした、同駐劄隊では奉天ばかりでなく北滿の酷寒中働いてゐる軍馬にもこれを送附することになつた【寫眞は駐劄隊衛門前にて慰問】

遂海屯にも兵匪來襲

【鐵嶺】十一日午後十一時頃當地南方二邦里遂海屯に五十騎の兵匪來襲し警察電話線を切斷して公安分所自警團事務所を襲擊銃器彈藥全部を强奪村內富豪を襲つて掠奪し二時間の後引揚げた

滿鐵線橫斷 兵匪二百餘

【鐵嶺】十二日朝八時半頃新臺子南方永源地附近の踏切を東から西に向つて橫斷したる二百餘騎の兵匪あり新臺子驛では當然襲來を受けるものとして頗る緊張したが兵匪は新臺子村を通過して楊馬屯に向ひ雍家屯に集中せるもの如くである

王殿忠軍の活躍 牛莊海城間不安去り住民續々として歸村

【大石橋】駐營黑龍江省騎兵第一旅長王殿忠軍第二團長李芳卿を指揮官とする匪賊討伐隊は去る九日牛莊城に到着夫れ〲配備に就くと共に愈々昨十二日午前六時頃海城縣公安隊と合し耿莊子東西荒地西四方臺灰窯崗子大旺臺方面に出動したが同地方一帶の賊團は早くも王殿忠軍の牛莊駐屯を傳へ聞き數日前より早くも河西方面に移動したといふので各隊とも殆ど賊影を發見せず同日午前十時頃空しく牛莊に引揚げた一方王殿忠軍は各地駐屯以來牛莊海城間牛莊營口間の兩街道に對し移動警備隊一個中隊を每日派遣し以て警備の衝に任じつゝありて今次事變發生以來屢々賊の襲擊を受け各地避難中の良民等は何れも安堵し陸續歸村しつゝあり既に牛莊城の如きは其約三分の二に達し遠くも此處十數日中には全部歸村各々其業務を開くだらうと

匪賊懷柔に關し海城縣布告

【大石橋】海城縣に於ては奉天省政府訓令に基き十二日左記文の如き布告を爲した

省政府訓令に依れば各地に胡匪蜂起し人民聊も安んじ能はざるを以つて從來屢々各縣に對し剿匪方通令せる所なるが甘心匪賊と爲り尚ほ悔いざるものは當然極力剿滅せる處なるも良民中匪賊に脅迫せられ已むを得ずして賊團に加入したる者をも一律に剿滅するは本政府の眞意に非ずと爲し茲に謬つて賊團に投じたる自警團員は良民の爲めに新生路を開き左記辦法第八項を決定せり依つて縣下一般に佈告するを以つて人民一體周知すべし

一、各縣警團及び良民にして今次の變亂に際し謬つて匪徒に入れる者も能く悔過し武器を攜帶して歸順する者は均しく之れを赦許し既往を追求せず

二、悔過歸順せんとする者は宗族或は親戚二名以上の保證人を帶同し最寄警察機關に申出で武器を提出すべし縣公署に於て調査の上誓約書を徵し然る後歸順者に對して保證書を發給す

三、前項規定に依り武裝解除せる銃器類にして若し歸順者の所有なる事の確證あるときは之れを返償するも然らざるものは縣公署に於て官民有の區別を明らかにし各所有者に返還す

四、返還銃器は目錄を作り省政府に報告す

五、歸順者所有馬匹牛掠奪せるものにして人民に返還せんとするときは縣公署より布告を以つて一般に周知せしめ尚ほ受取人無き時は之れを沒收競賣するものとす

六、本辦法に依り沒收せる金圓は縣政府より稟報し省政府の認可を得て其支出要途を明らかにするものとす

七、誓約者は規定せる樣式に依り歸順者に於て發給し縣公署に控を殘す外一部を省政府に返附するものとす

八、本辦法は佈告の日より施行す

旗家堡の南方で匪賊を殲滅 光川部隊の奮戰

【安東】十三日午前八時連山關第三中隊光川中尉以下四十七名は安奉線旗家堡南方約五キロの吉祥谷附近において百數十名の匪賊と遭遇し交戰、敵は死體三十、馬四十頭を遺棄し潰走したが尚七、八十名の負傷者ある模樣で殆ど全滅に歸した、我中隊の意氣益々軒昂勇躍して祁家堡に到着した

錦州綏中間に普通列車運轉

【錦州】永らく不通で有つた錦州綏中間の鐵道も愈々十四日より普通列車の開通を開始する事になつた但し三、四日間は往行丈所道其の後は往復二回通ふ筈、目下綏中北方約二十粁の地點に匪賊約二千四五百集中してゐるとの情報により錦州駐屯の混成步兵○○聯隊は此れが討伐の爲め一時○○聯隊司令部を綏中に移す事となり十四日朝軍用列車にて出發した

治安强調行軍

【安東】連山關第○大隊第○中隊(連山關、本溪湖、安東混成部隊)は十三日より三日間の豫定の下に安奉線草河口東方地區方面に出動したが右は治安强調行軍の意味にて行はれるもので安東守備隊からは○個小隊が十二日午後十時發臨時列車で出發した

出動部隊歸還

【長春】十四日午前一時三十分着東支軍用列車では敗傷患者輸送班吉川大尉以下○○名、自動車隊、モーターカー○臺、トラック○○臺、サイドカー○臺の指揮官鯉登大尉以下○○名、機關銃サイドカー隊○臺指揮官村山特務曹長以下○○名が到着、直に滿鐵線へ積換へ午前十時十五分發臨時列車で南下した

鐵嶺に於して本驛は新臺子を始め馬石山與驛等管內中固驛に十名づゝの警備員を增派し極力警戒中である

大兵匪團移動

【鐵嶺】李千戶屯に集中してゐた金山好、亞洲、方振國の聯合兵匪約千七百は十日朝杯地屯に移動し十一日朝更に一表山に向つたが同地には事變勃發當時各地に潰滅せる敗殘兵が百數十挺の銃器を隱匿せりとの說ある村で賊團はこの銃器を手に入れるべく行動してゐるやうであると

朱氏歸順申込

【吉林】丁超軍に屬する現在雙安橫道河子站に駐屯の朱團長は十日熙洽省長に對して歸順を申込んで來たと

飛行隊も歸る

【長春】十三日午前五時三十分着列車でハルピンより到着した關東軍獨立飛行第○中隊村中尉以下○○○名は同日午後十時發列車で南下奉天に向つた

時局寫眞展覽會

◇日時及場所

二月十六日 撫順中學校講堂
二月十七日 同原小學校講堂
二月十八日 遼陽小學校講堂
二月十九日 鞍山小學校講堂

右每日午前十時より午後四時まで開會

◇出陳の時局寫眞は御申込に應じます、場內の係員まで御申込下さい

主催 滿洲日報各支局

安東海關の收入大減退

【安東】事變に依る輸出入の激減と其他種々の關係から安東海關は近來にない收入の大減退を見せてゐる勿論三分の一減稅關は影響してゐるとは言へ在安海關中、安東海關のみが特に甚だしい激減振りなので海關側では何事かこれが對策を講ずべく、仄聞するところに依れば上海總稅務司の指令を仰ぎ積極的態度を表明するものと云はれてゐる

吉林に省立實驗小學校

【吉林】吉林教育廳長榮孟枚氏は今回教育の完備を圖る爲め新に省立實驗小學校を二箇建設して建築することゝし既に吉林省立大學工程處主任張公忱に命じて設計せしめて居るがそれに依ると總經費五萬四千元となる譯で解氷を待つて建築に着手する筈

吉林燐寸課稅

【吉林】東北火柴燐寸吉林分處は一月中の賣上高合計四百五十七箱あつたがそれに對して吉林財政廳は一箱に對して四圓三十二錢の稅を課し合計六千三百九十四圓二十錢を徵收した、因に公賣總處は此の總收入の十分の一を受入れ殘り十分の九は吉林分處と吉林財政廳に於て收入とすると

吉林邦人人口

【吉林】吉林總領事館警察署管內一月中邦人戶數人口は次の如くで前月に比して內地人は省城に於て十二名の減となり鮮人は一戶四十一名の增加を示して居る

▲內地人吉林省城戶數二六一戶人口八九九七名地方戶數三二戶人口八九名
▲朝鮮人吉林省城戶數一七三戶人口九〇六名地方戶數三、八三二戶人口一七、四六〇名(地方は永吉、樺甸、盤石、額穆、敦化、舒蘭、濛江、雙陽の各縣)

一中國人から滿洲號に獻金 日本人の恩に報ゆると

【旅順】旅順東鄉町一山川佐代太方ボーイ周宗林(三二)は十四日朝東洋橋派出所に出頭

自分の主人や日本人は皆私を可愛がつて呉れるので嬉しい、聞けば今度滿洲の人から飛行機をこしらへるそうだから僅かだがコレをその一部に加へて貰ひ度い

と金五十錢を持つて滿洲號建造資金へ獻金した、又乃木町三ノ二四黑岩貞平は小使の二圓を同じく獻金した

清水少佐遺骨

【奉天】ハルピン郊外で支那兵の毒手に斃れた清水航空少佐の遺骨は十四日午後一時二十分着急行で戰士に護られ着奉した、同日は北野山に安置され十五日午前七時十五分發列車で歸奉大連經由內地へ歸還した

茅野氏の遺骨 奉天に到着

【奉天】錦州一番乘りの際匪賊のため悲壯な最後を遂げた大每茅野特派員外三名の告別式は十三日錦州で營まれたが亡き夫の遺骨を拾ふため錦州に赴いた尊父と未亡人の手によつて十四日着奉には大每支局員その他新聞通信關係者多數のしめやかな出迎へがあつた尚奉天の告別式は十五日午後一時から春日町奉天會館に於て盛大に行はれた

殉職者慰靈祭

【奉天】錦西において匪賊のため殺戮された第○聯隊の山口曹長、所金次郎氏の慰靈祭は十六日午後一時から樅立町忠靈場において盛大に執行されるが一行中の所金次郎氏は岐阜縣不破郡赤坂町で享年四十五歲である、尚同氏は生前奉天國粹會の幹事として又今回は軍の囑託として幾多の功勞を立てた人で同氏の遺族は市內稻葉町の義弟方に假寓し十四日到着した主人の遺骸を迎へ悲しみの涙に暮れてゐる

煙草組合の指導員會議

【鳳凰城】葉煙草耕作並に乾燥法の改善につき十二、十三の兩日に亘り當地滿鐵煙草試作場に於て得利寺、鞍山の兩耕作組合及び當地南滿黃煙組合の指導員會議が開催された、出席者は得利寺耕作組合指導員田後二、鞍山耕作組合指導員島津熊五郎、當地黃煙組合指導員山田直武、同見正之助、試作場員尾彥三郎、菊池晃二の諸氏で滿鐵本社から山下農務課員、安東地方事務所から御園生農務主任鳳凰城試作場太田主任の三氏も列席した

沿線往來

▲池田朝鮮總督府醫務局長 十四日長春より來奉
▲船津奉天領事 十四日着任
▲ベザット氏(駐日ペルシヤ公使) 十三日夜長春より通奉內地へ
▲村井旅團長 十四日朝遼陽へ
▲阪谷拓務書記官 同日來奉
▲三好中將 同上
▲川田順氏(住友重役) 同上ヤマトホテル
▲金東氏(長春鐵路局長兼同線護路軍司令) 長官と打合せの爲め來吉中の處十一日一先づ歸長し二十日再び來吉の筈

SANTE

肺結核の革命的治療藥

サンテ

◎「サンテ」には、應用の適切を期する爲め、一號（有熱用）、二號（無熱用）、三號（虛弱質用）、の三種がある。これも創見者藤澤博士の苦心の現はれであつて、ピッタリ病狀に當てはまる藥を選ぶ事が治癒の促進にどれほど有効に働く事か云ふ迄もない事である。

◎「サンテ」は、各號とも、味緩和にして服用し易く、副作用・習慣作用、或ひは配合禁忌等の缺點のないのを特徴としてゐるから、他の藥物と併用する場合があつても何等妨げないのである。

【適應症】肺結核、肺浸潤、肺尖加答兒、肺氣腫、慢性氣管枝加答兒、肺炎、濕性並に乾性肋膜炎、結核性腹膜炎、喉頭結核、淋巴腺結核、腸結核、結核性下痢、肺門淋巴腺腫脹、脊椎カリエス、瘰癧、骨並に關節結核、結核性並に腺病性眼疾

【種類】「サンテ」一號＝有熱期に適す
「サンテ」二號＝無熱期に適す
「サンテ」三號＝前記各適應症の恢復期並に結核性體質、腺病質、虛弱質、榮養不良に適す

【藥價】

「サンテ」一號	一二〇錠 二圓八十錢	三六〇錠 八圓[illegible]十錢
「サンテ」二號	一二〇錠 二圓八十錢	三六〇錠 八圓[illegible]十錢
「サンテ」三號	一二〇錠 二圓五十錢	三六〇錠 七圓二十錢

◎別に醫家調劑用粉末あり

◎先づ文獻に依りて諸博士推奬の聲を聽け

文獻（實驗報告書）送呈

藤澤博士並に諸博士がサンテを結核性疾患の治療に應用されたる成績報告書及び「療養指針書」を御申越次第送呈す

臨床大家六十餘博士が

「サンテ」を各種の結核性疾患に應用せられて

その藥効を推奬せらる

醫學博士 岩井登門氏
醫學博士 生地憲氏
醫學博士 石山暢昂氏
醫學博士 飯島近治氏
醫學博士 原田光男氏
醫學博士 濱田良輔氏
醫學博士 濱田正枝氏
醫學博士 牛田久雄氏
醫學博士 西田宗一氏
醫學博士 西村俊一氏
醫學博士 西浦清一氏
醫學博士 豊田正達氏
醫學博士 富島嘉門氏
醫學博士 大國二郎氏
醫學博士 大森斌彥氏
醫學博士 岡本達三郎氏
醫學博士 小野醇吉氏
醫學博士 渡邊貞惠氏
醫學博士 川上理作氏
醫學博士 川上勝恭氏
醫學博士 川村六郎氏
醫學博士 米山義績氏
醫學博士 高橋三千彥氏
醫學博士 高橋四郎氏
醫學博士 高山四朗氏
醫學博士 高島俊治氏
醫學博士 玉田壽次氏
醫學博士 竹島光藏氏
醫學博士 竹森啓祐氏
醫學博士 內藤業太郎氏
醫學博士 中村和雄氏
醫學博士 內田謙益氏
醫學博士 內野淺次郎氏
醫學博士 植苗福次郎氏
醫學博士 上森虎之助氏
醫學博士 野々上好太郎氏
醫學博士 野木愛三氏
醫學博士 黑岩文一氏
醫學博士 栗原基氏
醫學博士 松崎香住氏
醫學博士 增田貞一氏
醫學博士 藤江武夫氏
醫學博士 小竹政吉氏
醫學博士 小松原謙三氏
醫學博士 盧名泰氏
醫學博士 齋藤齊氏
醫學博士 佐藤弘氏
醫學博士 澤田四郎作氏
醫學博士 櫻木勇吉氏
醫學博士 木村良恭氏
醫學博士 木崎正美氏
醫學博士 木許寬氏
醫學博士 百合野順太郎氏
醫學博士 三好毅一氏
醫學博士 宮井茂吉氏
醫學博士 宮崎正一氏
醫學博士 宮本博人氏
醫學博士 志賀賫氏
醫學博士 弘田茂富氏
醫學博士 森本正好氏
醫學博士 勝呂保氏
醫學博士 杉田貞之氏
（イロハ順）

何が故に革命的治療藥と云ふか？

結核は、決して症狀を抑へたからとて治る病氣ではない。

結核に多くの場合隨伴し來る發熱、食慾不進、盜汗、下痢、咳嗽、血痰、頭痛、心悸亢進、疲勞感等の症狀に對して、先づその症狀を抑へんとあせるのは人情の止むを得ざる所であるが、此等の症狀は何に因つて起るかと云へば、結核菌の產生する結核毒素の中毒に因つて起るものであるから、單に症狀だけ輕減せしめ得たとて結核治癒の上には何等の効を爲さないのである。

又、一時的に藥で抑へた症狀は、原因たる結核が治らぬ限り、何回でも繰返して發現し來るは當然である。

それよりも、根本的に結核菌を絕滅し、結核毒素を排除し、結核病竈の本質的治癒を計る事の方が、どれ程重要であるか解らない。

斯くして病氣そのものが治癒に赴きさへすれば、區々たる症狀などは、何等の處置を施さずとも、自然に消失して行つて、再び起る事はない。これこそ本當の治り方である。

新發見藥「サンテ」は、この見地より、結核菌に對する殺菌と排毒兩作用を徹底せしめ治療界に一新生面を開拓すべく、醫學博士藤澤好雄氏の多年苦心研究に成れるものであつて舊套依然たる結核治療に正に革命的の斷案を下したるものと云ふべきである。

世には往々にして、理論上効果あるべしと稱せられたもので、臨床上の効果擧がらず、期待を裏切らるゝものがあるが、「サンテ」に至つては、理論上はもとより、臨床上に應用して實に素晴らしい効果を示す事は、實驗者が總て驚嘆を以て報告せられる所である。

「サンテ」出でゝ クレオソート フォルマリンの類は影を潛めんとす

「サンテ」を結核の革命的治療藥といふ。これは誇張でも何でもない。事實の前には何人も之を否定する事は出來ないのである。

見よ、「サンテ」一度世に出づるや、陳腐なるクレオソートや其製劑、又はフォルマリン製劑の如き、日に〳〵醫家の注意より遠去かり、患者も亦之に賴らず、急速に治療界から見離されつゝあるでは無いか。

これ即ち「サンテ」が此等在來の製劑とは根本的に相違し、其効驗に於て格段的優秀なる事を實驗者が總て認められたる結果である。

力強き「サンテ」禮讃の聲は、今や結核治療界を風靡せんとしてゐる。

全國臨床醫家に急告 ―粉末二五〇瓦入發賣―

在來「サンテ粉末」は五〇〇瓦入のみでありましたが、今回御便宜を計る爲め半量の二五〇瓦入も發賣する事と致しましたから御諒承を願ひます。

幸ひに、「サンテ」が御期待に背かず、着々良好なる治療成績を擧げ御賞讃御推奬を得て居ります事は感激に堪ねません。結核撲滅に對する弊社の燃ゆる許りの熱意に御共鳴を賜はりまして、今後一層の御援助御協力を冀上ます。

肺病を治すか否かの分岐點

結核藥に對する認識不足ほど患者自らを毒するものは無い

世に、結核藥又は結核滋養劑と稱して販賣されてゐるものは、實におびたゞしい多數に上つてゐる。

藥店の店頭を一寸のぞいて見ても、新聞や雜誌の廣告を一瞥して見ても、正に **結核藥オンパレード** の感がある位であつて、惱める患者が、あれこれと迷ひわずらふのも誠に無理からぬ事である。

然し乍ら・此等多數のいはゆる結核藥の中に、眞に結核そのものを治す効力のあるものが果してどれだけあるであらうか。

その多くは、結核性疾患に伴つて起り來る症狀の一部を鎭靜するだけ、即ち熱を下げるとか、ねあせを制限するとか、食慾を進めるとか、咳嗽を抑へるとかいふに止まり、結核藥に非ずして單なる症狀鎭靜劑にしか過ぎないのではあるまいか。

その樣な藥をいくら浴びるほど服んだとてたとへ一時的に症狀は輕減しても、結核そのものゝ根本治療にはなる害がない。その正體に就ての認識が足らず、結核藥と名がつけば何でも手當り次第に鵜呑みにしてかゝらうとする患者は、自分自ら **治る希望を捨てた人** と云はねばならないのである。

自分の病氣を治さうと思へば、モット眞劍に、自分の服む藥に就て正しく考へねばならない筈ではあるまいか――

今茲に述べんとする「サンテ」は、別項にもある如く、徹頭徹尾結核の病竈に向つて藥物的作用を營む眞の抗結核藥であつて、病氣そのものゝ本體に藥理効果を及ぼし根本的の治癒を計る獨特の創意に成る發見藥である。

見方に依れば、病竈に對する作用のみに急にして、現に患者を惱ましつゝある各種の症狀に對する處置を閑却したるものゝ樣にも見ゆるやう。然し、實際は閑却するどころか、病の本源を鎭める事が、即ち症狀を輕減する事に一致し而も最も早道なる事を知るものである。

人爲的に外部から症狀を抑へる事は、やゝもすると反動を伴ひ易い。のみならず、各種の症狀の起り來る事は、起るべき原因あつて起り來るものであるのに **その源を究めずして** 單に表面に現はれた症狀のみを抑へんとすれば、どうしても無理を生じ易い。

若し、先づその源にさかのぼつて、結核毒素を排除し、症狀の起り來る根を斷つ事が出來たなら、少しも骨を折らずに極めて自然的に症狀を消失せしむる事が出來、病氣そのものゝ急速なる本質的治癒を計る事を得るに違ひない。即ち藤澤博士が苦心されて「サンテ」を創見せられた核心は此處にあるのである。

その効果の手近な說明は「サンテ」を實驗せられた各博士の報告書に見る事が出來る。

――食慾大いに增進し、健康時と同量の食餌を攝るに至る
――微熱去り、平溫となる
――ねあせ止み、夜間安眠する事を得
――胸痛去り、頭痛、全身倦怠を感ぜず
――咳嗽鎭まり、血痰止み、呼吸輕快す
――肩こり、全身異和感去り、元氣振起す
――ラッセル消失す
――下痢鎭禁す

斯くの如き著名な症狀の減退が「サンテ」の服用後、早きは四五日 **おそくも一週間目頃** からメキメキと現はれ來る事屢々であつて、患者の氣分は、日增しに不快なる症狀の消失し行くに從ひ、益〻明るく輕快となり、體重も增加し、歩一歩全快への堅實な歩みを進めて行くので各博士とも非常な喜びを以てその結果を報告せられてゐる。

單なる症狀の鎭靜劑であつても、この樣に速かに安全に奏効を見るのは稀である。まして、僅かに一劑にて、斯くも多數の症狀を一擧にして消失せしめ得るのは、前述の通り、「サンテ」が、病の本源を爲す病竈に直ぐ樣作用して忽ち殺菌排毒の効果を現はす獨特の製劑なればこそであつて、斯くてこそ **始めて本當の治癒が** そこに期待出來得るのである。

なほ、本劑が、服用極めて安易安全であつて、過敏性の婦人や小兒も喜んで之を服用し得る事、又少しも副作用若く習慣作用なく安心して持長せしめ得る事、及び、本劑のほかに下熱劑や其他の症狀鎭靜劑を併用する必要は更になく（併用する事は妨げなけれどもその必要なし）唯一劑のみにて十分各種の効果を同時に現はす故、從つて頗る經濟的なる事など、各博士の一致して推奬せられる所である。

SANTE (Nr. 1) サンテ（一號）

Applikation: täglich 3 mal 6 Tabletten nach dem Essen.

CHEMISCHE FABRIK SANTENDO G. m. b. H.

8T49

御註文方法

◎御註文の際は必ず「サンテ」何號と御明記の事
◎御送金は振替貯金（大阪三五七番）御拂込か、又は郵便爲替御利用が御便利、前金の御註文には送料を要せず
◎代金引替便ならば御註文主にて送料御負擔の事

各地著名藥店及び百貨店藥品部にて取次せらる

大阪市東區北濱一丁目
參天堂株式會社學術部
振替貯金大阪三五七番

弊社が明治三十二年呱々の聲を擧げて以來既に四十四年、此間製藥家として極めて眞面目に且つ研究的態度を以て一貫し來れる事は世に認めらるゝ所であります。● 玆に「サンテ」を發賣するに當りて社會衞生上責任の益々重大なるに鑑み、一層愼重なる注意の下に之が職責を果すべく充分の用意ある事を附言致します。

軍部徴發自動車の貸上料を誤麻化す
五圓宛頭をはねてゐた事判明
不正仲介者拘引さる

大連憲兵分隊では十四日午後九時ごろ市内越後町二四番地保科公司經營者保田元三郎（三）を奉天より歸來を待つて拘引し同夜は留置、十五日早朝から取調べを開始し一方市内のトラック業者數名を參考人として召喚取調べてゐるが、事件の内容は今次の日支事變で軍部が大連市内のトラックを徴發せるに際し軍隊たる保田は軍部と民間トラック業者の中間に立ち貸上料の頭をはねてゐたといふ不正行爲が發覺したもので、時節柄相當の注目を惹いてゐる、即ち今回徴發に對して保田個人が軍部より請負ひ貸上料は同人の手から各營業者へ支拂ふ制度となつてゐたところ軍部から支拂ふ貸上料は二噸積以上のトラック一臺につき一日廿二圓、二噸積未滿のものは廿圓であつた、然るに保田の手から營業者側に支拂つた料金は廿臺足らずの二噸半積以上のトラックに對して軍部の支拂より三圓多く廿五圓支拂つてゐるが、二噸積以下の百餘臺に對しては十五圓支拂ひ、五圓の頭をはねてゐたものであるらしい、即ち百臺のトラックから五圓宛の頭をはねると一日五百圓となり、使用期間中の額を見積れば相當多額に達するものと見られ、被害者たる營業者側では直に組合の問題として對策を協議中、なほ保田は軍隊である關係から犯罪成立の曉は軍法會議に廻される模樣である

けしからぬ
自動車組合某幹部談

右に就き大連貨物自動車營業組合の某幹部は語る

この十一月は本月上旬、保田個人の請負制度であることはいろいろ不便があるので爾今組合の手に移して貰ふべく軍司令部に歎願に出たところ、端しなくも軍部の支拂額と保田から我々營業者が受け取る貸上料とに開きのあることが判明、驚いて眞相調査に取掛つた次第です、果して傳へられる不正行爲があるとすれば、國家非常時に際し怪しからぬことゝ思つてゐる

動亂渦中から
上海にて　加藤保𣳾特派員（二）
魔都の呼吸は止つた
□□□□今は華かなりし日の夢さめて
彼の女らの頰に人間らしい涙□□□□

いまだに上海は燃えてゐる、濁赤な火は夜空を彩つて明るく染めて魔都上海を蝕ぶ樣に日毎に火線は延びて行く、事變以來既に半月上海人は一樣に煙硝臭い身體を針の樣になつた神經に支配させ困苦と辛苦な背負つたまゝウロウロしてゐる、鬱々として愛きあげた二萬五千同胞の神經と興奮は減つて行く許りだ、五日の總引揚避難者數四千五百、八日になると最早六千を突破してゐる、十一日出帆の御用船第三大溟丸では無賃歸國者の殺到で係員が目を廻す始末だ

×　×

妾も明日の船で長崎にゆるわ、いくら頑張つたつて、よしんば自分の身體がひき肉の樣にクタクタになつて働く氣があつても結局食へなくなりや仕方ないじやないの

二百名以上もゐたダンサーも僅か各所に點在するもの約三千名、そのうちの姐さん株がそう云つて悲鳴を揚げてゐる、もうこうなると小生意氣で捨鉢でツンと澄ましてゐた彼女等もから意氣地がないゴマのバラバラと振りかけられた艶りめしとタクワンがはじめて口にはいつた時白粉氣のない頰らしい涙がツーと走つたと云ふ、何れにしても明日はダンシングドレスをスウヲケースに收めて……「無賃歸國」と云ふ憐れな哀しい言葉は長崎に歸つて行く

×

事件發端と共に邦軍の打ち出す砲彈は閘北の空に炸裂し續いて行はれた慘然たる便衣隊狩で血の雨が上がる程驚いた支那民衆數百萬はゾロゾロ動いたのである、恐らくこれを空中から見下したら避難支那人の流れは壯觀だつたに違ひない南京路、蘇州路、四川路それ等は布團をかつぎ家財を纏め周章狼狽した人の流れで滿たされた、そして結局は行く的がないので市中を數回に亘つて歩き廻つたのすらあると云ふ、曾ては榮華を誇つた支那のブロードウエイも濁汚れた避難支那人に占領されたのだ

×　×

同時に砲火の洗禮を受けた上海にあるとあらゆる國際的機關はピタリと活動を停止した、當時は銀行が休業「そんな紙幣は受取れない」紙幣の價値がやかましくいはれたものだ、電報が打てない續がに外人經營の大北電信會社がこの間甘い汁を吸つたばかりだ、要するに上海は一時呼吸が止まつたのだ（へ寫眞は未だに燃え續ける上海の市街と避難の支那人）

北滿戰場の露と消えた七勇士の遺骨
戰友に護られ寂しく大連に着く
けふ、海路母國へ

ハルピン及び双城堡方面の戰鬪に參加し壯烈なる最後を遂げた清水飛行少佐ほか六勇士の遺骨は同中隊の守田飛行大尉以下數名の戰友に護られて十五日十六時五十分大連驛に到着した、驛頭には一昨日並びに本日北滿より凱旋して目下大連滯在中の野戰重砲〇隊の山下少佐以下各將士はじめ、市關係、在鄕軍人會、市内各男女中等小學校、各宗教團體並に一般市民多數出迎へ、讃美吊旗に勇士の靈を慰めたが、遺骨は最後部客車の一部に安置され遺族及び沿線宗教團體より派遣された僧侶に依つて回向されてゐた、大連驛着と同時に遺骨はプラットホームに設けられた祭壇に一時安置され、守田大尉より出迎へ人一同に對して簡單なる挨拶あり、一同あらためて遺骨に對し最敬禮をなしたるのち、遺骨は戰友の手によつて再び躍られ自動車にて常安寺に向つたが、十五日夜は同寺に於て通夜が營まれ、十六日出帆のあめりか丸で内地歸還の豫定である（寫眞は大連驛の遺骨）

上海事變傷病兵畏し御慰問
御紋章入り御菓子を捧持
出光侍從武官西下す

【東京十五日】今回の上海事件に出動し名譽の負傷をした横須賀、佐世保の各海軍病院に收容して加療中なる傷兵御慰問のため畏き邊から御沙汰を拜した侍從武官出光少將は御下賜の御紋章附御菓子を捧持し十五日午後一時東京驛發佐世保に向つたが約一週間に亘つて各病院に赴き傷兵にそれぞれ聖旨を傳達する筈である

旅大紹介の映畫製作
滿洲事變を取入れて滿電が

滿電自動車部ではかねて内地より海路渡滿する船客に對して何等かの形式によつて旅大の紹介をなすべく計畫中であつたが、最近旅大風景を取り入れた映畫を作成して船中でこれを映寫し、船客の慰安かつ旅大の紹介をなすことに決定し、この製作には滿洲映畫社が擔當することゝなり十四日より撮影を開始した、十五日は市内のロケーションをなし十六日午前八時頃より旅順方面のロケーションをなす筈で、ストーリーは滿洲事變を取り入れた相當興味あるものである、なほ同映畫完成後はそのうち二本を軍慰問として寄贈する豫定である【寫眞は大廣場におけるロケーション】

滿蒙視察團昨夜東京を出發
期待されるその收穫

【東京特電十五日發】日本商工會議所主催、本社後援の滿蒙視察團十四名は既報の如く十五日午後九時四十五分東京驛發急行にて多數の見送りを受け出發した、地方の議員は途中から參加し下關に勢揃ひするが一行の團長東京議員の大塚榮吉氏は出發に先立つて語る

昨年十二月日本商工會議所から滿洲軍に一萬圓の慰問金を送り代表者四名を選び慰問致しましたところその時軍部から吾々は日本の生命線たる滿蒙に日本軍の帝命を擁護すべく働いたが第二段の産業開發が重大であるから滿蒙視察をして産業方面の案を樹てゝくれないかといふ話があり、代表の歸京後一月十七日の常任委員會で吾々の使命を果すべく産業視察團の派遣に就いて決定しました、出來ればホテルその他の關係で二十人以上困難だし今回十三名が第一回の視察を行ふことになつた、吾々日本國民の中産商工家の立場において視察する筈でその結果により更に專門家を送り第二、第三の視察團を派遣したいと思つてゐる、視察の終つた三月三日頃大連で滿蒙委員會を開くつもりだが、それには内地の六大會議事務所の委員、在滿商工會議所員及び吾々が出席することになつてをります、今度の旅行中は何かと御社を始め在滿有志の御世話になることゝ存じます、貴紙を通じてよろしく傳へて下さい

夜間飛空を實現し大連東京一日聯絡
遞信省航空局の計畫

【東京十五日發】遞信省航空局では此の程我國商業航空の眞の使命を完成の腹案を決定したので愈々實現に努力する事になつた、此の案の主眼とする處は現存航空路における夜間航空の實施でこれがためには各飛行場及び航空路の夜間照明設備を完成し東京大連間一日航程の實現を期せんとするものだがこれに伴ひ特に福岡に陸上飛行場を新設する事及び樺太から臺灣へかけて本邦縱斷幹線航空路の開設等何れも我航空界に新紀元を劃するものと計畫されてゐる

名歌手宮川美子の滿洲號獻金獨唱會
來る十七、八日兩夜協和會館
會費　一般二圓、倶樂部員・讀者一圓五十錢
會券は十六日午前九時より社員倶樂部にて發賣
主催　滿洲日報社
後援　滿鐵社員倶樂部

凱旋の部隊慰問
軍馬には人參を振舞ふ
大連婦人團體聯合會で

大連婦人團體聯合會では來る十八日午後一時半より協和會館に於て今回凱旋して來た野戰重砲隊七百名を招き左のプログラムによつて慰安會を催すが同時に軍馬三百七頭にも人參をふるまふ由

開會、凱旋の歌、舞踊、幼稚園兒童の童謠、舞踊、浪曲、落語その他特志婦人の餘興數種ある見込であるが各婦人團體より三名及び有志婦人の手傳ひを希望してゐる

不逞鮮人團漸次歸順

滿洲奥地における鮮人民族主義團體の國民府並びにその他の團體は……

萬寶山事件調査員出發す
二十日頃歸來の豫定

長春領事館に集合した萬寶山日支調査委員は十五日午前十時長春出發現地に向つたが日本側九名、支那側六名で、日本側委員は倉本書記生、田畑領事館警察主任警部、鮮人民會長、萬寶山水田組合長、その他で、支那側は長春縣長會長以下祕書その他で護衛兵は縣公安局馬隊二十餘名で、一行の歸長は十九日か二十日頃と見られ萬寶山事件もこれによつて圓滿解決を見る筈である【長春電話】

東方革新團協會脫退
名古屋で旗揚げ擧行

【名古屋十五日發】東方力士革新團は十五日午前九時後援者井上新太郎氏方に協議會を開いた結果大相撲協會と絶縁の聲明書を發表し直に協會に對し脫退屆を發送した、革新團全力士は十七日上京各自の荷物を親方より受取りて名古屋に歸り來月初め新興力士團を迎へて名古屋に第一回旗揚げ興行を行ふ事に決定した

新立屯の匪賊討伐

十三日步兵第〇〇聯隊の一中隊機關銃一小隊及び砲一門奉山線の東方地區の討匪に向ひ高山子驛東方約八キロ新立屯附近において匪賊五名を射殺し約五十名の武裝解除を行ひ小銃二十挺、彈丸若干を鹵獲した【奉天電話】

今や世界の大勢と滿洲の時局とを理解し漸次歸順の意を表し當局に連絡を執りつゝある、當局でもその意を諒としてゐるが一部鮮人間論者の反對あつて議論纏まらず時日を經過せるうち最近李松江、張世源、李友山外十七名は領事館並びに支那官憲のため逮捕された【奉天電話】

日滿連絡放送
プログラム

奉天より放送する日滿連絡ラヂオ放送プログラムは左の通りである【奉天電話】

十六日「錦州の狀況に就いて」奉天聯合軍司令部附○師團參謀長　森大佐
十七日「滿洲の邦人」奉天聯合町内會長上田統
十八日「匪賊に就いて」關東軍司令部附白田少佐
十九日「空の滿洲」大朝酒井飛行士
二十日「元宵祭」連盟通信社長都甲文雄
二十一日　支那音樂

巡査部長に斬りつく
民政黨員ふたり

【熊本十五日發】熊本縣の政爭はいよいよ激化し漸くに政爭王國を思はせてゐる折柄、上益城郡御船警察署御船巡査部長衛山勘（三）が今暁八時出勤の途町中央の街路に……

家庭手帖

十三日のこと、市内山縣通り大阪商船支店長室のテーブルの上にあつた黒の折鞄が煙の如く消えて失くなつてゐるのを午後五時ごろになつて氣付き大騷ぎとなつた

……◇……

この鞄は今度商船奉天駐在員として赴任する村井弘吉（）氏のもので鞄の中には森島奉天總領事を首め正金、鮮銀、三井、三菱の各支店長及び軍部關係のお偉々に宛た紹介狀十五、六通入れてありこの紹介狀を握り廻しお偉いことをされては、在奉知名士に迷惑を及ぼすといふので早速紹介先にこの旨を通知するやら、大連署へ屆るやら大騷ぎの騷ぎ、さて黒鞄の犯人は誰だといふ詮議になつた

詮議の結果、結局當日午後二時ごろ元商船の仲仕請負をしてゐた佐藤某――假名――が支店長に面會、奉天行の旅費を強請したところ支店長は五月蠅と思ひ六圓投げ出して支店長室から逃げ出した、そのあとで佐藤某が大金の入つてゐそうな黒鞄がテーブルの上にあるを見て「しめたツ」と心中で打ち喜び、人氣のないのを幸ひ、ゆうゆう抱へ出たものと判明し目下大連署で犯人嚴探中

曙の鐘 (198)

倉田潮
河野想多畫

水の底（一）

穴倉の牀から水が湧き出して來るのを知つた時、よもぎはぞつとして立ちすくんだ。

水責めにして殺すつもりなのだ。見る間に水はくるぶしを浸した脛を上に冷たくあがつて來る。

「誰か來て……」

破れたやうに叫んで、じやぶじやぶと水を蹴ちらしながら、一方の壁に殆ど無意識にとびついた。徒勞だつた。上れる譯がない。誰も來ない。

耳をすますと、湧きあがつて來る水の音が、妙に殘忍に聞えた。

「誰か、誰か……」

叫びながらも心の中では、もう駄目だとはつきりと思つた。騷ぐだけ無駄だ。水が膝まで來てしまつた。殺されるより外に道がないのだ。

涙が眼に一杯になつてゐながら不思議にも悲しみは感じなかつた。ひどい力で頭を殴りつけられた後に似た鈍い痴呆の中に、恐しい狂燥を感じるばかりだつた。

ふさよもぎは或ことを思ひついて跳ねあがつた。着物を引き裂いた。怖ろしい力にびりびりと破れて着物を牀の穴へ——瞬間に救はれると思つた——栓の代りにまとめて突つこんだ。穴は幼兒の頭ほどもある。突きこんだ着物ではまだ足らない。下着も全部ぬぐが早いか水に浮いてゐた假面の扮裝と一緒に固めて……穴がうまつた。栓になつた。救はれる。喜びの勢ひにのつて

「助けてえ……」

叫びながらしつかりと着物の栓を兩の手足でおさへつけた。水はかゞんだ彼女の顎の下まで來てゐた。でも栓のきゝめは、有難い。水口がふさがれた。水の出るのがやんだやうだ。

よもぎはなほも破れたやうに救ひを呼びながら、思ひがけない昔の、嬉い頃のまぼろしを思ひ浮べてゐた。彼女は六歳ばかりのおかつぱに髪をゆつて大柄なめりんすを着た少女だつた。睡りかけて、祖母らしい人の子守歌を夢うつゝに聞いてゐる。

「不吉だ」

彼女はさう思ひながら、まぼろしを振り消して、また狂つたやうに救ひをよんだ。死の迫つて來る瞬間には、かう云ふ嬉い頃のまぼろしをふいに思ひ出すと人に聞いたことがある筈だつた。

暗い。瞬が何の位置にあるのか何んな姿勢にあるのか……。暗い死ればかう云ふ暗がりになるのだらう。あゝ云ふまぼろしが見えるやうでは、神は生を與へてくれないで、かう云ふ死の暗がりに導きいれるつもりかもしれない。

仇敵の謀計・卑怯、自分の輕率——さう云ふ考へのきればしが頭の中で渦をまいた。殘念だ。もう一度生き度い。生きて……

急に息がつまりさうになつた。むせかへつて顔を外向けた。何うしたことだらう。もう一度顔をもとの位置になほして息苦さをこらへてゐると、今度はちつそくしてしまひさうになつた。

原因がわかると、ぞつとした。着物で穴に栓をしたので、水の出方は可成り少くなつたが、全くとまつたのではなかつたのだ。着物をぬらし、着物にしみ通つて出て來る水もあるし、着物のわきから湧き上つて來る水もある。その爲に知らぬ間に水かさが増して鼻から下が水につかるのだ。顔が亢奮にほてつて、その上非常に狼狽へてゐるので水につかつたのを感じなかつたのだが、成る程水の中では息が出來ないのもつともだ。では、栓をしたので時期は延びたが、死をのがれたのではなかつたのか。たゞ死期が數分間先に延びたゞけなのか。よもぎは救ひを叫びながらさう思つて、打ちのめされたやうな失望を感じた。

不吉な死の前兆とも云ふ可き嬉い頃のまぼろしがまた心の一方に映りはじめた。

水かさは次第に増して、唇をかくし顎にのぼつて來た。つひによもぎは手で栓をおさへてゐることが出來なくなつた。死はつひに數秒の前に迫つた。

第卅九回 滿日勝繼碁戰（湯淺氏二回勝三回目）

先二子番 湯淺唯二氏
初段 井上太市氏

—【5】—

●六四（五七の處粘ぐ）
○八一タの十二 ●八二タの十三 ○八三ヨの十三 ●八四カの十二
○八五ハの四 ●八六ハの五 ○八七ロの五 ●八八ハの三
○八九ロの四 ●九〇ハの六 ○九一ニの五 ●九二ロの三
○九三ホの四 ●九四ニの三 ○九五ホの五 ●九六ホの三
○九七ロの六 ●九八ハの七 ○九九ロの七 ●一〇〇ハの八

▲清水三段講評 白八五以下の趨向面白くない此場合（い）に掛り黒の應手を窺ふがよい但し右上隅に掛るとすれば單に八七に打つて様子を見る位でしよう黒八六の締れば却くして白の作戦を破る良著です黒九二は九四に粘ぐがよい

けふの放送

大連 JQAK

二月十六日

▲午前七時 ラヂオ體操 ▲午後六時五十分 ニユース ▲華語講座「テキスト第七十九課」滿鐵學務課 秩父固太郎 ▲漫談「街頭漫談」白藤六郎 ▲小唄數種（唄三味線）田村てる枝 ▲清元「三千歳」清元研究會社中 三味線 清元延㐂富 ▲職業紹介事項 ▲天氣豫報 ▲ニユース

東京 JOAK

十六日午後六時三十分

▲選擧講座「第三次普選に際して」東京市長 永田秀次郎 ▲浪花節「雷電爲右衛門」東家鶴燕 ▲小唄イ「春雨に相合傘」ロ「逢ふと見し」ハ「梅は香ひ」ニ「比翼塚」ホ「私しが在所」唄 堀小滿孝、三絃 堀小滿笑 ▲映畫物語「令孃と與太者」細川春葉、伴奏指揮 稻葉與四郎

「滿洲號」へ献金

（大連市役所内）軍用飛行機献納義金募集取扱所中央委員部

▲千圓高橋猪兎喜▲五百圓玉久良小倉玉江（開店三周年記念祝宴費を献金）▲四百圓池永充實▲三百圓住友社員山添程次▲二百圓首藤俊雄▲一圓中村左右策▲同大連府物整理組合▲同東亞土木企業株式會社▲同鎌田琴子▲同山川吉雄▲同大連海友會一同▲七十圓常福寺寒修業一同▲五十圓滿洲美婦人會▲同齊性離成▲三十二圓山川吉雄外十四名▲三十圓東洋ホテル▲常盤會ホテル▲二十圓山口町妙外十四名▲同平島丸乘組員一同▲同堀部德松▲同大連船若聯一同▲同川上千春▲同赤松明昭▲名越爵太郎▲同大連初音町組合▲同御大典記念貯金會▲十五圓大連松林小學校少年團有志▲同カフエー京極女給一同▲十圓松田繁一▲同大石萬譜▲同福田德道▲同柳生龜吉▲同三十里堡驛長外九名▲八圓小村俊男▲五同田中留二▲同建部昌晴▲三圓五十錢赤井隆貢▲三圓吉屋穂廣▲同武田辰郎（朝日小學校三年生）▲同上原わか子外二名▲二圓遼東精米所▲同小野武八▲同江尻計夫▲一圓五十錢豐福光次▲一圓竹下吉次▲五十錢北風京藏

小計 三千五百九十一圓五十錢

滿洲日報

上海事件二次報告に聯盟各國異常に緊張
臨時總會を結局召集か

【ジユネーヴ十四日發】上海事件に關する聯盟上海調査委員會の第二次報告は本日正午公表された、その内容は左の如くで聯盟各國は右報告よりも寧ろ現地における今後の情勢に深甚の注意を向けてゐる、聯盟では英佛兩國が主となり現地解決を期し聯盟各國も非常に注目してゐるので臨時總會の開會は免れぬ模樣である

日本軍の虹口占據につき虹口一帶に恐怖時代が現出するに至り公然たる戰爭狀態が該日間存在するに至つた、攻撃は專ら日本軍の側にあり、日本軍の攻所目的は呉淞砲臺占據、一切の支那軍を上海より相當の距離まで驅逐するにある、虹口の日本人以外の居留民は殆んど全く避難するに至つた、日本側も亦斯くの如き混亂狀態に立至つた場合自國民の行動が過激に亘つた事と容認してゐる、其後同勢は大いに改善されるに至り相當數の好ましからぬ日本人も日本に送還された、但し本委員會は日支何れの側が停戰約束を破つたかを決定するは不可能である

日本に不利なる報告
便衣隊の性質活動を無視

【ジユネーヴ十四日發】總會召集を氣脈ひするジユネーヴの空氣も上海の第二次現地調査委員の報告で著るしく動搖し始め臨時總會召集の機運を強める傾向あり、即ち第二次報告は一月二十九日以來の日支停戰破りの狀況に關し詳述して居りこれで一先づ終了した譯であるが今度の報告は前回に比し批判的で次の二點は聯盟筋の注意を惹いてゐる、即ち

一、二月二日以後は公然たる戰爭狀態存續し日本は呉淞占據と支那兵驅逐を目標として完全に攻勢を取つてゐる

一、二十九日夜から支那便衣隊を狩り立てる際兵力不足を補ふためと通常服の補助隊を動員、家屋を破壞掠捕ひその他多數の暴行をなしてゐる、蓋しこれは排日に對する報復手段なるべしと

右の如く該報告書は便衣隊驅逐のため軍隊以外の日本人團體の執つた行動に關する敍述は暴行事實のみ詳細に過ぎ暴行原因たる便衣隊の性質や活動については合點の行く程述べてないのは事情を知らぬ者に誤解を與ふる傾向があるので、この點につき我代表部は上海から日本側として更に詳しい報告を取寄せ認識不足の再發を防止するに努力するはずである

けふ秘密理事會開會

【ジユネーヴ十四日發】上海問題につき聯盟の執るべき態度に關しては各國何れも確信なく只管現地における情勢の推移如何を觀望してゐるが、十五日は支那國代表を加へて非公開理事會を開き善後策を協議する事になつた、日本代表佐藤大使は本日聯盟の法律專門家たるフランスのルネ・マシグリ氏を訪問し總會召集問題に關する聯盟側の意嚮を聽取したが、聯盟側の態度は相當强硬なものがあつた、因に支那代表顏惠慶氏は本日理事會が濟んで總會召集されざる場合は聯盟規約第十五條九項後段の規定に基き鬪く迄特別總會召集の要請する決意を明かにした

敵軍頻に戰備を整ふ
眞茹の北方に塹壕を構築

【上海十四日發】陸軍の來着に恐れをなした支那軍は退却するに決したとの說が盛に傳へられてゐるが、我飛行機の偵察によれば敵は依然戰備を進めてゐること明瞭で且罪後の廟行同軍の態度が不明なので我軍部ではこれ等の風說は一顧の價値なしとして居り日支兩軍の大衝突は不可避的だと内外人の意見一致してゐる

【上海十四日發】第十九路軍は眞茹の北方に盛に塹壕を構築中であるがこの外各所に戰備を整へてゐるとの確報あり

租界の中立嚴守
英米總領事から通告

【上海十四日發】わが陸軍の租界内上陸通過に對し英、米總領事は本日夫々文書を以て村井總領事に對し租界の中立を嚴守されたい、租界を軍事行動の根據とせぬやうにとの意味の抗議的通告をなし來つた、我方では武裝軍隊の租界内上陸通過については英、米にも最近その前例あり、且つ司令部は租界外で抗議さるべき筋合はないが抗議的申言をなされたものとの見解で別に反駁せずその儘にさおくこととし適當の機會に說明する事とした

蔣介石自ら折衝
上海事件解決に關し

【南京十五日發】蔣介石氏は十四日顧維鈞、羅文幹、何應欽等と上海事件につき協議し蔣介石自身上海に行き商議解決に努める模樣、なほ本日も協議を續けるはずである

蔣介石南京着

【東京十五日發】海軍省着電によれば蔣介石は十四日午後二時三十分飛行機で洛陽より南京に到着した

植田團長聲明
外人間に好評

【上海十五日發】昨日上陸と同時に外人記者に手交した植田〇團長のステートメントは外字新聞において好評を博してゐる、殊に武力

原吉林長官赴春（十四日夜奉天驛にて×印が長官）

上海事件の新調停案
駐日三公使、我外相を訪問

【東京十五日發】英、米、佛三國大使は本日午後四時芳澤外相を訪問する事となつた、右は上海に在る英、米、佛、伊四國公使間に日支上海事件新調停案の決定を見たるにつき政府の意嚮を求めんとするものと見らる

【北平十五日發】支那側の報道によれば在上海英、米、佛各國公使及び代理公使等協議の結果上海事件新調停案を昨日日支兩政府に通達した

我首腦密議

【上海十五日發】今朝九時過ぎ小野第〇團長は第〇聯隊長以下の幕下を從へ陸戰隊本部を訪問植松指揮官と時餘に亘り密議を凝らした後同十時頃一同打連れて閘北一帶の前線に視察に向つた

日本軍の行動尊重
支那側の租界根據抗議に對し
工部局理事長聲明

【上海十五日發】支那側は我軍が租界を根據とすとて工部局に抗議をなしたるため理事長フェッセンデン氏は本日聲明を發し共同租界は獨立國若しくは中立國に非ずして單に各國協定によりその中立を尊重さるゝのみ共同租界の安全防禦のために各國共軍隊派遣の實例あり、此等軍隊が租界の中立を冒す如き事あらば協定國政府は對策を協議すべく日本軍の行動は工部局の干與する權限又は責任なしと述べ日本軍行動尊重を聲明した

閘北の支那軍沈默
我軍も敵情偵察に止む

【上海十五日發】昨夜の砲擊以後敵は全く沈默時々小銃擊を聞くのみで閘北一帶に亘り弦月の空に不氣味な靜寂を續けてゐる

【上海十五日發】一昨日猛烈なる〇〇大隊の偵察戰後敵は何等積極的行動に出でず我軍も自重して敵情偵察だけに留めたので昨朝來たゞ前線の小衝突のみで我軍に死傷者なく、殊に昨夜から今朝にかけては只二、三發の銃聲が呉淞鎭方面に聞いたのみで至極平穩裡に夜は明けた

呉淞の弔合戰
敵の陣地を完全に爆破

【呉淞十四日發】我飛行隊は昨日の十一名の尊き犧牲者の弔合戰をなすべく十四日午後二時戰鬪機〇機、爆擊機〇機は呉淞上空に出動、爆彈を投下呉淞鎭の敵陣を爆破し復讐を遂げた、此時軍艦夕張よりも猛烈な砲擊を加へ敵陣各所を粉碎し又同砲彈二發日華紡工場に命中し同所に立籠つた敵に大損害を與へた

【呉淞十四日發】我飛行機は本日三回に亘り爆擊を行ひ又軍艦夕張からも早朝から午後四時まで砲擊し呉淞鎭の敵の陣地は完全に爆破された

けさ引續き爆擊
空、海兩軍呼應して

【呉淞十四日發】我空軍は今日午後の爆擊で呉淞の西一哩の寶山縣城の西門外に在る敵の彈藥庫の殘れる一個を完全に爆破した

【呉淞十五日發】本日午前呉淞砲臺前面に出動した我〇〇驅逐隊の〇隻は昨日空と海よりの攻擊で破壞された陣地を敵は昨夜の中に又構築したので之に一齊攻擊を開始し上空に飛翔した我飛行機も空より爆擊を開始して完全に敵陣地を爆破沈默せしめた

支那軍潰走

【呉淞十五日發】能登呂の偵察機

滿蒙新國家の成立期
本月末か三月の初旬
先づ最高政務委員會を組織す
政體は共和制を採用

滿蒙新國家は時局の一段落と共にその建設の機運いよ〱濃厚となり準備も着々進捗し既に奉天側首腦者の準備討議も終りその骨子さなるべき案も出來上つてゐるが、確なる筋より聞くところによれば近日中に吉林省長官熙洽氏の外張景惠、馬占山兩氏等の來奉を待つて最高政務委員會の成立を見た上、右骨子案に對する最後的の討議をなし具體的に決定次第新國家の成立を見るに至る段取りとなつてゐる、而して最高政務委員會は奉天、吉林、黑龍江各省の代表者三名乃至四名をもつて組織され、新國家成立のための過渡的機關に過ぎないので新國家成立と同時に消滅し、各委員は新國家の首腦者となり各般の自治建設に向つて邁進することゝなつてゐる、これがため新國家の成立は本月末か遲くとも三月初めになる筈で、新國家の政體は一部に傳へられてゐる如き帝政は問題とならず、共和制を取ることに完全なる意見の一致を見てゐる、そして最高機關には絕對權力を持たせ、完全なる中央集權主義を確立し從來の如き地方軍閥跋扈の弊を匡正することゝなつてゐる尙熱河呼倫貝爾方面は時期を見てこれに編入されるやうである【奉天電話】

滿蒙の樂土建設に
全力をつくす覺悟
けふ奉天着の張景惠氏語る

滿洲新國家建設準備のためハルビンより奉天に向つた張景惠氏は鮑井關東軍特務部長、板垣高級參謀等と共に十五日午後零時四十五分瀋陽飛行場着、軍部より三宅參謀長その他の出迎へを受け小憩後自動車にて敵地の張景惠氏公館に入つたが往訪の記者に對して簡單に語る

余は今度光輝ある新國家が舊軍閥より離れて三千萬民衆の待望裡に建設されることゝなり對策協議のために來奉したものである、老骨非才にして充分な事は出來ぬであらうが、兎も角も滿蒙樂土建設の爲に出來得る限りの力はつくして見る覺悟だ、自分の建設に對する考へは既に日本側と一致し些かも反する所はない

尙新國家建設準備會議は馬占山氏の十六日來奉を待ち十六日頃より開始される模樣である、寫眞は張景惠氏【奉天電話】

特別要件は何も無い
明朝赴奉する
内田滿鐵總裁

内田滿鐵總裁は本社における事務打合せも一段落を告げたので松本秘書役帶同十六日午前九時發急行で奉天に赴くことゝなつたが十五日午前總裁室で語る

前にも言つた通り奉天と大連とは度々往復したいと思つてゐるので今度も機會が出來たのでゆく事になつたのだ、だから特別に用件があつてゆくわけでないさ奉天から更に奥地に行くかどうかは向ふに行つてからでないさ解らぬ、偶然奉天では熙洽、張景惠、馬占山の諸氏に一緒になりさうだが馬占山氏の他は知合だし先方も會ひたがつてゐるやうだから何れ會ふことになろう然し勿論そのための赴奉ではない、總選擧がすめば副總裁は一度上京することにならうが僕は今のところその意思はない、増實問題だとかそういつたことは別に今は何等具體的に考へてゐない

寶山路方面の支那軍退却

【上海十四日發】陸戰隊本部發表我軍は十四日午後三時半虹口クリーク對岸寶山路、寶興路の敵陣を野砲を以て攻擊し敵は午後四時半頃より陣地を放棄しトラックで退却した、又午後七時頃青雲路、江灣方面の敵より砲擊し來つたので我軍も野砲を以て直に應戰した、横濱路以南異狀なし

永安紡附近の敵軍潰走

【上海十五日發】今朝五時から約二時間に亘り我陸軍及び能登呂の飛行機〇機により猛烈な攻擊を受け沿岸陣地を擊破された、敵は同七時頃よりクリークに沿つて西方に向ひ永安紡績附近に潰走し始めたので午前九時頃張華濱附近にある我山砲は之に對し夕張と呼應して猛擊を浴せたが折柄能登呂の水上機〇機飛來し機關銃を以て攻擊敵は莫大な損害を蒙り算を亂して潰走した

北方の敵掃蕩

【呉淞十四日發】十四日朝到着した我〇〇團は午後五時楊樹浦に到達したが、機を見て上海北方の敵を掃蕩する筈

陸戰隊本部に敵迫擊砲彈落下

【上海十五日發】本日午前十時五十分陸戰隊本部前に敵の迫擊砲彈落下炸裂し負傷一名を出した本部内は俄に緊張を示して來た

【上海十五日發】閘北一帶の敵は昨夜來小銃機關銃の射擊は行はなかつたが、北四川路方面の敵は午後七時半より攻擊を開始したが我軍は野砲山砲を以て之に應戰し有

引翔鄕占據

【上海十四日發】本日午後七時四十分より引翔鄕及び三義里の陣地に向つて我野砲陣地より我白砲の射擊を開始したので我軍之に應戰盛に砲擊を交へてゐる

【呉淞十四日發】今日呉淞に上陸した〇〇團の〇〇隊は午後二時飛行隊掩護の下に敵を擊破して午後五時引翔鄕を占據し第一回の戰勝をなした

太田總督入京

【東京十五日發】太田臺灣總督は十四日午後九時二十分東京驛着入京した、氏の進退問題は頗る注目される所であるが今明日中に辭表を提出するものと見られてゐる

人事

▲木内文三氏（小崗子署司法主任）新任挨拶のため十五日市内各方面歷訪
▲三澤丁一氏（小崗子署衞生主任）同上
▲首藤正壽氏（滿鐵理事）十四日夜奉天より歸任
▲粟屋秀夫氏（滿鐵地方課長）十五日夜行にて奉天へ
▲古野伊之助氏（新聞聯合總支配人）滿洲各地視察中の處十五日朝再び來連十六日上海へ向ふ豫定

蛇腹 1932

吉林省長熙洽十四日奉天に入る、引續き來奉の張景惠、馬占山さ、立派な新國の協議があるだらう、を作つて貰ひたい。

◇

熙吉林省長、滿洲人民は軍閥政治に飽きたといふ、それは滿洲ばかりでなく、支那一般の民情、あちらにも文治政府が出來さうなもの。

◇

蔣介石も腹意を決すと、日本に負けるよりも、廣東派に負けるのが口惜しい。

◇

滿玉祥の大刀隊上海に向ふ、日本刀の切れ味と如何。

◇

無投票の十區は珍現象、結構ではあるが、金がない寂さあつては

◇

聰な猿と知つたら若い、之れ何鄰人顧惟文中の名文句、但し國際の將來が不明瞭な今の世界、或は〱くの人の惱みがある。

東亞の謎 (198)

國枝史郎
挿畫　伊藤順三

決鬪（六）

時間はズン〱經つて行く。心を決しなければならなかつた。射たうか？ひさごろしの罪人さなる！射たれやうか？恐だ！それこそ愚だ！

（やむを得ない！）

と伯は思つた。

（射たう！）

さハッキリ決心した。

その時正面の扉が開き、長身の人間が影のやうに、素早く庭へ這入つて來た。

すぐ扉がとざされた。男の姿は闇に呑まれ、しばらくは伯に見えなかつた。

しかし相手が闇の中で、伯を狙つてゐることが、伯の心眼に感じられた。

やがては闇に眼が慣れて、双方の姿がシルエットのやうに、薄ぼんやりと見えることだらう。

その時双方は射ち合ふだらう。伯は夫れぞと思はれる方へ、拳銃を向けて狙ひ澄ました。

不意に窓のあく音がした。正面の扉の上にあつて――そこは二階になつてゐたが、そこに一つの大きな窓があり、その窓の戶があいたらしかつた。

屋内の電氣が消されてゐるので窓があいても光は射さず、人の姿も見えなかつたが、たしかに二人ばかりその窓から、庭の樣子を見てゐるやうであつた。

さよう、そこには武村儀三と、朱仁輔とがゐるのであつた。

伯の眼は少しづゝ、闇になれて來た。

（よし――しッ！）

と伯は引金へかけた人差指へ力をこめた。

×　×　×

……まるで可愛らしい淑人形だ。ところで何うして濃はうかな？

彼は今から一週間前に、武村儀三によつてかう云はれた。

「兩部正輔を生擒つたのさ。小夜子と其奴とが住んでゐたのだ。で、小夜子はこの町にゐるのだ。隣から隣まで大速中さがしてゐる、小夜子を目付けて攫へて來な……」

そこで彼はホッキ歩いた。

（雲を摑むやうな頼りない仕事さ）

不平たら〱概して歩くより、その結果が酬いられ、今夜小夜子を目付け出したのであつた。

（さて何うして扱つたものかな？）

彼は考へ〱歩いた。

（それにしても素晴しい女だ）

洋裝の服を付けて恍惚となつてゐる小夜子を、吉五郎はしばらくむさぼるやうに眺めた。

小夜子は阿片を喫つてゐた。コトンと煙斗をベットの上へ落した。

今彼女は恍惚境にあつた。美しい紺が見え音樂が聽え、綺麗とした風影が去來し、仙樂の鈴がその中で笑ひ、詩の斷々がさうけさうであつた。

それは天國の生活であり、それは極樂の生活であつた。

彼女の肩はボカリと開き、可愛らしい前齒が見えてゐた。

彼女の眼はとざされたまゝで、しかも嬉しさうに笑つてゐた。

苦痛も悲哀も絕望も、今の彼女にはかゝはりが無かつた。

カーテンの隙から熱いふ彼女を、正面にある別の部屋の、細目にあけたカーテンの隙から、みつくちの吉五郎が眺めてゐた。

（さう〱あの女眠つちやつ

奉天商埠地内の満鐵所有地を貸下

近く諸準備の終り次第地方部で出願者の詮衡に着手

最近時局も漸次安定に向はんとする折柄奉天市街の今後の發展を見越して地元の満洲は勿論内地方面からも満鐵が奉天商埠地に所有する約七十五萬坪の土地を目ざして貸下願が殺到しつゝあるが満鐵地方部では附屬地内の所有地のうち貸下げ得るものは殆ど

全部 今日までに處分し終り商埠地内にのみ貸下げの餘地を存する状態であり從來の幾多の例に鑑み種々雜多な介入を絶對に排する見地から非常に慎重な態度をもつてこれに臨んでゐるため地方事務所でも本社の指令なきため今日まで未だ一件も商埠地の貸下許可を行つてゐない状態にあるが最近に至り満鐵首腦部の意向として市街地並在留邦人發展策の見地から適當にして眞面目なる出願者に限り充分なる詮衡を經て貸下許可を與ふることに大體方針の決定を見たので愈々近く諸準備の了り次第地方部においてそれぞれ出願者の

詮衡 に着手し適當に貸下を開始することになる模樣で栗屋地方課長は奉天事務所とのこれ等の事務打合のため十五日夜行にて赴奉した

威力を發揮して凱旋兵着く

けふ大連驛頭に迎へられた晴々しい武勲の輝き

今次の満洲事變に我が武力の最大さ云はれる獨立野戰重砲兵第〇〇隊第〇〇隊は中島〇〇隊長に引率されて十五日午前九時特別軍用列車で華々しい武勲に晴々しく面を輝かし市民の歡呼の聲に迎へられて目出度凱旋したが、約十分大連驛に停車市民の歡迎に感謝を表して後貨車輸送作業のため大連埠頭に到り正午無事

大任を 果した、一同は待合所において晝食を取つたが中島大尉は語る

御多忙中御出迎ありがたう、自分達は去十二月二十九日御用船平仁丸に乘つて渡滿したもので決死の覺悟で奥に向つたものだ僅か一ケ月餘で皆様と又會へやうとは思はなかつた、元來自分達の火砲は生れて初めて海を渡り満洲の土を踏んだもので巨彈をもつて大いに敵を撃たうとしたが殘念な事に錦州の如きも自分達が遼陽を出發の朝鳳を食つて逃亡してしまつた樣なわけだ同じ樣に反吉林軍をハルビンに打たんと奉天を出發したがこれも忽ち自分達の

行動を 知つて逃げる樣なわけで巨砲は髀肉の嘆のうちに皇軍威力の餘裕綽々たるを示してゐたやうな次第だ、しかし土匪討伐其他で約二百四十發位打放したが性能萬點の成績を納めた今度こちらに來た時は沿道各驛では眞夜中にかゝはらず送迎して下さつたには涙がこぼれた、自分達の今後は解らない約一週間待機の[illegible]である

奉天省學校近く開校

奉天省の小學教育は事變以來引續き停止され省當局は一日も早く開校すべく準備を急いでゐたがいよいよ近く開校を見る運びとなつたので省教育事務擔任處長章燉賢氏は十二日全省の各小學校長を召集して開校事務協議を行つた結果

一、省立小學校は官有校舍を除く外は家主に對し事變前後までの未拂家賃は支拂の義務を負はず今次開校の日より計算することを請求すること

二、期日を限つて舊教員を復職せしめ且つ生徒を復校募集すること

三、各校の豫算を提出すること

等を申合せた【奉天電話】

驅逐艦入港

我が驅逐艦若竹、吳竹、早苗、早[illegible]の四隻は十六日午後〇〇方面より炭水補給の爲入港するさ

間島の形勢不穩

王德林軍叛亂態度露骨

【間島特電十五日發】曩に満鐵社員二名を射殺した王德林の部隊七百名は反吉林軍の色彩強く不穩の態度を示し延吉警備軍司令の武裝解除命令に背き十四日夜[illegible]田に向つて行動を開始した、これより先十二日夜その一部隊は同縣[illegible]丹川の保衛團を襲撃し銃器彈藥を奪ひ同時に各所において住民より銃器を徴發する一方鮮人を煽動して打倒日本を叫び愈々反亂の態度を露骨に現したので延吉警備司令は討伐軍隊を續々送つてゐる、吉會鐵道測量隊は中止の已むなきに至り測量隊は一先づ根據地に引揚げた

張海鵬軍彰武を占領

張海鵬軍第四枝隊は去る十二日彰武方面において張學仁の指揮する匪賊約六百名を攻撃しこれを追撃して午後六時彰武に入り市街戰を演じた、然る處敵は四、五百の増援を得たが第四枝隊奮戰し悉くこれを撃退し確實に彰武を占領した匪賊は死體百を遺棄して退却した又張軍は賊十三名を捕虜とした、この討伐において彰武自衛團は第四枝隊に協力し徹底的に賊の剿滅を期して居る【奉天電話】

南臺不安

我警官隊出動

十五日午後〇時五十分から南臺派出所よりの電話によれば頭目不詳の馬賊五十騎南臺西方約十五支里の蛇龍[illegible]を襲撃し掠奪放火をなし漸次南臺に移動襲撃するものと見らる、よつて大石橋署では小阪[illegible]

わが飛行機匪賊を攻撃

我飛行機は天橋廠附近を飛行中同地鹽務處より鹽を掠奪し逃走中の賊の馬車數臺を認めこれを攻撃し潰走せしめた【奉天電話】

錦縣下鹽務處には事變前五四、一九〇〇餘石の鹽が貯藏してあつたが事變後匪賊に掠奪せられ約十七萬石を剩すのみとなつた、十四日

上海事件と外、支人の態度

概して我行動を是認

上海事件に對して上海の外人及支那人は果してどう考へてゐるだらうか、之は外人にせよ支那人にせよ各自がその立場殊に利害關係によつて自から異るが、つまり日本軍の行動が自己に取つて直接又は間接に有利であり或は將來において有利な結果を齎すであらうことを豫想して多くは日本軍の行動を謳歌し或は肯定し或は默認してゐる、

▼　▲

先づ手近い例として擧ぐれば恰も日本軍が行動を開始した翌日即ち一月二十九日共同租界工部局はかねて支那當局との間に懸案となつてゐた滬西エキステーション地區に電柱を樹つるべく、多くの苦力を繰だした事實がある、といふのは同エキステーション地區は支那當局との間に管理權問題によつて長い間爭奪戰が行はれ、工部局は何か機會さへあれば同地區に電線を引かんと待ち構へてゐたのである、つまり支那側のエキステーシヨン回收運行をいたく憎んでゐた矢先であつたので、たまたま日本軍の行動開始に乘じて、かねての計畫を遂行せんと試みたのである、所が日本軍の行動は工部局が期待してゐたことに反し不幸にも疾風迅雷の如くには行かなかつたのである、だから工部局は已むを得ず右の工事を中止するに至つたのであるが同時に日本軍の行動が捗々しくないのに對し少からず悲觀し且もどかしく思つてゐる樣である、工部局態度が果して英本國のそれを反映するものであるかどうかは別として少くとも上海のイギリス人がその利害の關する限り日本軍の行動に對して突き進んだ諒解を有することは右の一例によつても窺はれる所であらう

▼　▲

では米國人はどうであるかといふと、上海に住むアメリカ人のすべてが必ずしも支那人の機嫌のみをとる譯ではない、支那に長く住む米人某記者の如きは痛快だといつて日本軍の行動を謳歌してゐる位だ、しかし少數のアメリカ人が、日本軍の行動を非難し惡宣傳をなし支那人を[illegible]してゐることは事實であ[illegible]國政府の首腦汪兆銘が急遽やつて來たのも一に米國[illegible]の意見のためといはれて居り、[illegible]トン政府の策動は今後大いに[illegible]すべきであらう

▼　▲

フランス人はどうかといふに之は始めから問題にならない、此度の事件ばかりでなくフランス人は五卅事件以來同租界における凡ゆる事件に對して雲煙過眼視してゐるかが問題である、それよりも支那人はどうであるか、尤も支那軍と日本軍との爭鬪である以上一般支那人が日本軍の行動に反感を有するかといふにさうではない、否最も有力なる筋の一致した意見は結果さへよければ目障的自由都市になつてもかまはない、此際體裁ばかりかまつてはゐられないといふに在るらしい、有力なる筋とは主として實業資產階級のことであるがこの階級の要望なりを代表して日本側に意見の交換を求める政客達さへ現はれてゐる、

▼　▲

又青幇の親分杜月笙の如きは「余は一般から便衣隊の指揮者なるが如く噂せられてゐるが斯ることは斷じてない云々」とわざわざ各新聞に廣告し一方日本側某方面に對し或種の運動さへ試みてゐるさうである、南京政府成立以來[illegible]ためまで搾り上げられた上海の資產階級が今後上海を國民政府の支配外に置きたいとの希望は恐らく正直な本音であるかも知れない、要するに日本軍の行動はその目的が上海三百萬市民の幸福を齎すものである限り支那人と雖も決して故なく反感をもつものとは思はれない(二月十二日)

割當率を決定して俸給から差し引く

満洲號献金方法決定

われ等の飛行機「満洲號」の献納義金募集に關し十五日午前十時から市役所會議室に民政署、満鐵會社、學校、區長、大連、満日兩新聞社各代表參集し協議會を開いたがその結果官吏と云はず會社員と云はず一般俸給生活者は月給五十圓未滿の者は一圓、百圓未滿の者は二圓、百五十圓未滿の者は三圓、二百圓未滿の者は五圓、二百五十圓未滿の者は七圓、二百五十圓以上の者は右累增率以外にウンと奮發して貰ふ事に大體の割當を決しこれが徴收方法は勤務先の官衙なり會社なりに於て月給より差引き尚俸給生活者以外の者に對しては區長に於て適宜取纏める事とし午後零時半散會したが沿線各地にもこの旨通知し同一方法に依つて募集する事にした、因に今日まで集つた献金は八千餘圓であるさ

藝妓をダンサーに

三業組合のホール新設計畫實現の氣運具體化す

ダンスを藝妓に仕込んで新時代の客を迎へやうとする大連三業組合のダンスホール新設計畫は既報の通り圖面を添へて所轄大連署に認可を出願、當局で詮議中のところ最近に至り合理的資金捻出方法さへつけば許可する方針の旨内達されたので、組合ではこの程臨時總會を開き新設ホール資金四萬圓は全組合員の連帶責任で正隆より借入れる、これが返還方法は組合員一名一ケ月十圓宛を積立て大凡五ケ年内に償還す右の根本案を決議し改めて大連署に上申したが、許可あり次第工事に着手し來る四月頃開場したいさ意氣込んでゐる、これで重大視された大連に於けるダンスホール問題も漸次解決の機運に向つたものと見られてゐる

小沼を收容

けふ市ケ谷に

【東京十五日發】警視廳に留置取調の結果殺人罪で起訴された井上前藏相暗殺犯人小沼正(二二)は十五日午前十時半檢事局に送られた同日拘留訊問後市ケ谷刑務所に收容される筈

安東監獄囚人一部を釋放

在安東奉天第七監獄では奉天省政府の命により在獄者三百六十二名中五十八名に對し十二日午後釋放を傳達したが身元確實なる者十八名を釋放し他の四十名は時局不安定の折柄確實なる身元引受保證人の請書を徴する事とし尚保證人を有せざる者に對しては縣長市警察署長並に典獄長等協議の上近日中旅費を給し本籍地に送還し安東の治安上遺憾なきを期することゝなつた【安東電話】

貨物自動車組合愈々陣容を整ふ

役員協定賃金を決定

新に生れた關東州貨物自動車營業組合は十三日午後一時から大連署講堂で臨時總會を開會、役員選擧の結果

組合長には國際松本庄平、副組合長に昌圖戸谷庄吉、同旅順の大六山本寛吉の三氏當選しさらに理事十名、幹事二名推薦された

次で協定賃金に就き種々協議の結果大連市内は東部、中央、西部、南部、老虎灘、星ケ浦の六區に分ち、右區間内の賃金は一噸半積二圓、二噸積二圓五十錢、二噸半積三圓、三噸半積三圓五十錢となしさらに大連より甘井子、金州、旅順、三十里堡、普蘭店、貔子窩、城子疃の各地區内の協定賃金を決定し十五日大連署に許可を請願した、なほ今次時局に際し軍部に貸上げとなつた組合員のトラックが戰地に於て機能を發揮することが出來ず新鮮のハトツクに比し著るしく不完全なるものが多かつたのに鑑み、今回關東廳警務局長から警告があつた件に對して將來車體の改善、技術の練磨に努力し業界發展に貢せんことを申合せた

けふ大連着の凱旋兵

猪汁て舌鼓を打つ

時局のため鋭意の努力を盡してゐる奉天署員を犒勞のため本庄關東軍司令官は吉林から贈られた大猪を署員一同に贈つた、奉天署では十四日から二日間交替で署員に猪汁を作つて振舞つた(寫眞は奉天署裏庭で猪汁に舌鼓を打つ署員、右端は立川署長)

若く美しき世界の歌姫宮川美子獨唱會

得意の曲目を揃へて開催

本社主催、満鐵社員倶樂部後援の下に來る十七、十八の兩日間協和會館に於て催される本格的オペラ歌手、リリツクソプラノ宮川美子孃の満洲號建造基金募集獨唱會は全市民の人氣を完全に集めてしまつたが、我等の歌姫美子孃は伴奏者加納屋子孃と共に來る十七日入港の定期船で來連することゝなり上陸當夜より協和會館のステージにパリー仕込みの美音を振ふことゝなつた、美子孃は今や全日本のあこがれの的となつてゐる關屋敏子孃外遊後の日本樂壇は完全に美子孃によつて獨占せられてゐるのだ、美子孃のデビユーは、必ず市民の欲望に滿足を與へると同時に更に強くアツピールして行くことゝであらう、獨唱會々員券は十六日午前九時より社員倶樂部に於て發賣されるが、普通一般は二圓、本紙割引券持參者に限り一圓五十錢であるから割引券を大いに利用されたい、尚獨唱會の曲目左の如し

第一部
スペインの薔薇……フエレ
若人へ捧ぐ……ラツセル
マンドリン……デビウシー

第二部
庭の千草……ムール
ケンタツキーホーム……フオスター
ツバメ……デル、ラツカ
ミネトンカの湖邊……リウランス

第三部
かもめ……弘田龍太郎
叱られて……弘田龍太郎
鐘が鳴ります……山田耕作
この道……山田耕作

第四部
歌劇「蝶々夫人」より……プチニ

満洲軍肉彈戰　僅か十九歳の青年が嫩江橋梁修理の決死隊に加はつて大活躍の有樣見るが如く、其他大戰激戰キング三月號に掲載、大好評!

清水少佐遺骨

けふ大連着

ハルビン方面の戰鬪に參加して壯烈なる戰死を遂げた清水飛行少佐以下五勇士の遺骨は十五日午後四時四十五分大連驛着の列車にて着連するが、遺骨は一先づ大連市及び宗教團體合會の手に依つて直に常安寺に安置され、通夜が營まれる筈である

通行中出刃で斬らる

十四日午後六時三十分ごろ市内寺内通十四番地徐尉文の妹翠子(一七)が友人を王陽街に送つて[illegible]町十一番地に差しかゝるや背後より出刃庖丁で肩先に斬りつけ逃走した支那人あり大連署で目下嚴探中であるが犯人は二十歲位の青年で痴情と見られてゐる

宮本選手ゴルフ決勝に進む

【ニユーオレアンス十三日發】五千弗懸賞ニユーオレアンス七十二ホールオープンゴルフ競技の前半三十六ホール試合で、我宮本選手は百五十四點で後半決勝戰出場の資格を得た

天氣豫報 十六日

北の風晴一時曇

各地溫度

	十五日午前十一時	十四日最低
大連	零下七、一	零下四、五
旅順	同五、八	同四、三
營口	同九、八	同一五、五
奉天	同一三、〇	同一六、三
長春	同一〇、〇	同一七、三

けふの小洋相場(正午)　金百圓は一六四圓丁度

大阪毎日新聞記者故茅野榮錦州に於て殉職致し其遺骨十六日午前七時大連驛着同十時出帆のあめりか丸にて大阪本社に歸還可致候右につき十六日午前七時半より同九時迄大連市北大山通大阪毎日新聞支局(大毎館)に於て遺族參列の上慰靈法要相營可申候間一般の御燒香は同時刻支局にて相受け可申候

昭和七年二月十五日

大阪毎日新聞社

武門血笑記（55）

下村悦夫作　布施長春挿畫

京洛の春（五）

源之丞と作樂は、何處ともなく京の町外れの田舍道を歩いてゐた。もう夜明に近いのであらう、遠方の百姓屋では、一番鷄が時を作つてゐた。見廻り組の者を手に懸けた以上、其の邊に愚圖々々してゐる事は出來ない。さ云つて、お互に自分の住家を知られ度くないらしい二人は、どちらが先に立つさもなく、こんな處まで來てしまつたのである。

「では、貴公、まだ陣野氏が仇討に出てゐる事を知らないのか」

と、作樂、

「陣野……と云ふと？」

「無論縫馬ぢや」

「何に？縫馬が……」

と、源之丞は、世にも意外なと云ふ面持であつた。作樂はちろりと、源之丞の顏を見て

「ほう、ほう、貴公はまだ何もかも知らぬのぢやな、露木氏、貴公が手にかけたのは、縫馬ではなく兄の辰馬だつたのだ」

「えツ、辰馬」

「さうぢや……」

「矢張り、さうだつたのか……」

と、源之丞は呻くやうな力の無い聲で云つた。彼の淀みきつた心は、今その餘りに意外な自分の行爲を知らされても、事の意外に驚くより外に、それ程の深い感慨もないらしい。

「こゝいらまで來れば、もうよからう、彼方の社殿へでも行かう」

と、作樂は歩みを止めて、路から少し離れた黒い社殿を指した。で、二人は路を横に外れて、小さな社の後ろにある、社殿へ入つて、腰を下した。

「處で、露木氏、貴公は今でもあのお蓮と一緒にゐるのか？」

「……」

「いや、これは聞くまい。が、友人として聞くのぢやが、貴公、今……と云ふよりも、今後どうしやうと思つてゐられるのだ」

と、作樂は、薄暗い闇の中で、源之丞の窶れた顏を、思ひやりの深い目で、ぢつと眺めた。

「白井氏、拙者の事は、もう何も聞いて呉れるな、貴公の友達であつた事も忘れて呉れ……」

源之丞は、自分の空虚な心の底に滲み込んで來る、苦い友情を拒むかのやうに、外つぽを向いて云つた。

「さうか、それなら聞くまい、が露木氏、その若さで、國家有事の時にあたら男を、泥沼の中に腐らすのはもつたいないと思はぬか」

「……」

「腐らす位なら、陣野殿に討たれてやる氣はないか」

が、源之丞は、身動きもせず項垂れたまゝ、口を開かうともしなかつた。

東の方が、いつの間にかうつすらと白みかけて、あちらこちらで時を告げる鷄の聲が、けたゝましく續いた。

「では露木氏、これでお別れする事に致さう……」

作樂は、感慨深さうに、かう云ふと、靜かに立ち上つた。

「白井氏、待つてくれ、拙者から聞かう／＼と思つてゐたのだが、貴公達が、どうしてこんな處へ來てゐるのだ」

と、源之丞は、何となく別れを惜むやうな樣子。

「拙者は、勤王方として、新らしく生きる爲めに、古い一切に一先づ別れて來た。大海の一粟にも足らぬ身ぢやが、天人一如の大道の爲めに、この一身を捧げる覺悟ぢや、では左樣……」

作樂は、われ知らず、心持ち肩を聳やかすやうにして、昂然とかう云ひはなつと、靜かに歩き出した。

源之丞は、顏も上げないで、暗い大地を、ぢつと凝視しつゞけてゐた。

世界の歌姫 宮川美子孃を迎へる（四）

村岡樂童

お父樣お母樣萬一私が成功して世界的歌手として立つ日が來ましたら是非一度私はあこがれの日本の母國へつれて歸つて下さる？」彼女の念願は世界の歌姫としての錦を着て故國日本へ歸ることであつたアメリカで生れアメリカで育つた彼女には故國の美しい景色や、未だ見ぬ友達がどんなにか憧れの的となつて居たか、おゝよろしいさ――その時こそはお父樣もお母樣も一緒に美しい日本の土を踏みませう、それまではお前は一生懸命に勉強するのですお父樣はお前の健かな成長と勉強さを知るに優る慰めはない、どうぞ良い優れた歌手となつてくれ、これは彼女が巴里への出發の際に父君なる愛三郎氏の愛娘への餞の言葉であつた、きつと世界の歌手となります、どうぞお父樣御安心下さいまし彼女はかう答へた、おゝ爽やかな彼女の健氣な鹿島立ち……巴里へは世界の小春天人が同伴して勉強中の研鑽を見ることゝなつた

愈々彼女の輝かな修業の旅が始まつたアメリカ大陸を東へ東へと横切つて行く――デンバー、ソートレーキ、ワシントン、ニューヨーク等の大都市で盛なリサイタルは次々に催された彼女の得意とする著名な西歐樂曲の間に弘田龍太郎氏や山田耕作氏作曲の日本小曲を唄ひ又は歌劇花車などを三味線に合せて踊つたがまだ見ぬ日本へのあこがれが期せずして彼女の旋律と所作との上に一しほの可憐さとしほらしさとを加へその演出は素晴らしい抒情的なものであつた旅行に質實上加州の代表として許された彼女の名に恥じないものとして暫く日人間に非常なセンセーションを捲き起した殊にニューヨークとワシントンではオウエン夫人の斡旋で民主黨婦人大會の席上に出演の榮を得た、ナショナルオペラ會社長アルビン氏は「將來歐洲の舞臺で活躍し得る望み十分」との折紙をつけ氏と親交ある巴里の著名な音樂家達に宛て紹介の紹介狀を認めて呉れた、その中にはフランスの有名なオペラ、コミックのテナー歌手カヒターニ氏に宛てたものもあつた斯くして愈々彼女はニューヨーク埠頭を後にハドソンの下流にある憧れの平和の女神像に別れを告げて花の巴里へと急いだのであつた

滿洲號基金募集 宮川美子獨唱會 讀者優待割引券
（本券持參者に限り一圓五十錢）
主催 滿洲日報社
後援 滿鐵社員倶樂部

滿洲號基金募集 宮川美子獨唱會 讀者優待割引券
（本券持參者に限り一圓五十錢）
主催 滿洲日報社
後援 滿鐵社員倶樂部

女と強盗 可憐な映畫劇場の女給が戀した男は恐るべき紳士強盗だつたさいふクララ・ボウの涙への轉換映畫で相手役はノーマン・フオスター、監督はフランク・タットルでパ社發聲日本版作品【次週常盤座上映】

關東浪曲大會 二日目演題

十四日より大好評で開演した東浪曲大會は久し振りの大家揃ひで毎晩大入滿員であつたが、特に天中軒月子孃は師匠雲月を凌駕する程であると好評を博してゐた、尚ほ二日目演題左の如し

一、義烈百傑（桃中軒雲右）一、槍の權三郎（桃中軒白玉丸）一、竹川盛太郎（春日亭一鶴）一、乃木將軍（桃中軒白雲）一、幡隨院長兵衛（東武藏）一、安中草三（へ甲齋左虎丸）一、忠僕直助（東家樂遊）一、日本開國史（桃中軒雲右衛門）一、二人令孃（春日亭清鶴）一、元祿二ツ巴、除夜（天中軒月子）

噂話

きのふ埠頭に上陸してから「やア／＼」と肩をたゝく學校友達が多いので廣瀬美美スツカリいゝ氣持になつて星ケ浦ホテルでは岡部本太氏に會つた▲一行は今夜の列車で赴奉し、同地を中心にロケして錦州には飛行機で日歸りで行く豫定らしい▲顔番のダンス問題も愈々具體化し、昨日の船でダンスのお師匠さんが二人來連したので▲けふ女紅場で技藝員と鎬つなぎがあるといふが、近來の見物だらうと噂さり／＼

滿洲日報

邦人の不安を除く爲 暴逆軍を斷平掃蕩す

租界關係各國の協調も希望 荒木陸相、決意を語る

【東京十四日發】第〇〇團は十四日より上海上陸を開始したが、荒木陸相は十四日午後左の如く語つた

第〇〇團主力は十四日上陸を開始し後續部隊も十五、六日頃までには全部上海に到着、陸戰隊と協力上海の平和安寧を回復し在留邦人の不安除去のため萬全の處置を講ずる事となつた、よつて現在暴逆を逞うしてゐる第十九路軍が自發的に撤退すればよし現在の態度が依然持續するに於ては斷然實力を以て之を或地點まで掃蕩するは勿論である、然し如何なる場合にも相手は十九路軍並に上海附近部隊のみで事態擴大は出來得る限り避け、局部的解決の方針である、依つて租界關係の列國の協調も希望する然し蔣介石麾下軍隊と雖も我軍に敵對行爲ある場合は斷乎膺懲を加へるは勿論である、自分は平和解決の爲め十九路軍の反省を望んでやまぬ

植田〇團長外人記者に聲明

【上海十四日發】植田第〇〇團長は午前九時二十分軍艦出雲に野村第三艦隊司令長官を訪問し、九時半總領事館に重光公使村井總領事を訪ひたる後、外人記者團と會見し左の聲明をなした

上海租界を脅威より解放し居留內外人を安住せしめるには支那軍が戰線より撤退するを絕對必要とす、撤退距離は戰線より遠ければ遠い程良い譯で若し支那軍が撤退要求に應ぜざれば我軍は已むなく適當と見る斷乎たる處置に出る用意はしてゐる、我軍は即時攻擊はしない支那軍に撤退が得策なるを諒解せしめ且つ實行せしめる猶豫を與へるものである

敵軍、我軍に撤退要求

陋劣なる作戰として默殺

【上海特電十四日發】支那陸軍部長何應欽は昨日我方に對し「支那側が現在の戰線から一千米を撤退するから、日本側でも北四川路迄撤退されたし」と要求したが、我方はそれ等は僞にして陋劣なる支那軍の作戰を斥けこれを默殺してゐるが、昨夜來支那軍が沈默を守つて居るのは南京から蔣延楷に對し一時積極的態度を中止するやう命令した爲めである、しかし彼等は尙南京方面から軍隊を續々輸送して居る

【北平十四日發】外交部次長郭泰祺は昨日英米佛公使に日支兩軍同時に同距離を撤兵する場合は支那は停戰協定に應ずべしと通告したと

わが軍全線に總攻擊

敵の陣地大動搖を來す

【上海十五日發】皇軍大部隊の上海上陸が敵の全線に知れわたりしものゝ如く朝來敵陣地動搖を來し柳營路の敵は西方に向け後退江灣驛の敵は眞西に向け退却を開始したので皇軍はこれが殲滅を期し午前十時全線攻擊に移るに決し各部隊は全線に急送され我が〇〇隊は朝來陸戰隊野砲の掩護の下に江灣方面に進擊を開始した

【上海十五日發】吳淞の敵は西方に移動せしに反し閘北方面の敵は午前十時頃より俄かに活潑となり迫擊砲彈は目下陸戰隊本部附近に落下しつゝあり爲めに自動車運轉手一名重傷を負ひトラック三臺大破された、目下なほ落下を續けつゝあり我軍は野砲を以てこれを砲擊中

二三日中に最後通告

【東京十四日發】植田〇團は上海上陸後、暴戾なる第十九路に對し一更に最後通牒的に一定地域外への撤退を要求する筈で彼が飽くまでこれに應ぜねば全力を擧げてこれを徹底的に膺懲する筈である、なほ我軍は暴兵を一掃し事態平靜に歸せば急速全部撤退の筈である

愈よ近く掃蕩する 支那軍の陣容

上海にて 日森虎雄特派員

上海に支那軍の對峙線はどうなつてゐるか、陸軍の增援により、近く最後の結末を告ぐべき一大激戰が豫想される折柄、先づ上海市街戰の對峙狀況を見る

我軍の第一線

同時に之は最後の線であり一歩も退く譯にはゆかない――は〇〇〇を最右翼として〇〇〇を最左翼とする鐵道線―〇〇〇〇…〇〇間―に沿ふてゐる、延長は約〇〇メートル位であらう、尤も陸戰隊本部の〇〇〇方面は約四百メートル位突出してゐるが概して〇〇〇に沿ふてゐると思へば間違ひない、この線に配置されてゐる我軍は約〇〇位(〇〇隊の總兵數約〇〇)だが專門家から見て防禦には十分だそうである

支那軍の戰線

はどうなつてゐるか、わが軍の第一線に平行してゐることは勿論であるが距離は頗る近い、遠くて五百メートル近い所は二百メートル位である、その最も接近してゐる所はわが最右翼の同濟路方面と最左翼の虹口路方面だ、呼べば答へるといふ位に近い、だから一方が一寸頭を上げると、直に一方が射擊する、銃聲が砲聲絕え間ないのはこの爲だ、その軍隊は廣東籍の第十九路軍であるが、その配置狀況は大體左の如くである

▲商務印書館方面――この一帶には吮鵬の百二十一旅が蟠居し、商務印書館の燒殘り及附近の家屋を利用して頑強な抵抗を試みてゐる、敵の右翼である同戰以來わが軍の最も苦戰し損害を蒙つた所で、現在でも時に逆襲し來りなかなか油斷がならない

▲寶興路方面――この一帶には敵の主力と見られる陳光漢の第六十師がゐる、山砲八門を有し、しかも砲擊は概して正確だ、敵の中央に位し左右兩翼との完全なる聯絡が取れてゐる

▲同濟路方面――此處には百廿旅がゐる、虹口クリーク左岸に陣地を布き、六十師と聯絡してゐる、六三園を燒いたのはこの軍隊だ

右はわが軍に直接抵抗してゐる軍隊のみであるが、この外に敵は北停車場倉庫附近に一ケ師を置いてゐる、毛維壽の六十一師である、又同所〇北一千メートルの〇〇隊附近には蔡廷鍇同軍の大集結待機してゐる蔡廷鍇同の城內附近及眞茹方面に各集結してゐるが果して全部が戰線に出るかどうかは支那人方面にも判らない(以下略)

吳淞方面

はどうであるか、既にわが〇隊がウースン、クリーク以南を占據し、第〇艦隊と共に吳淞鎭及砲臺の敵に向つてゐる、上海の邦人はまたかと同地の陷落を待ちあぐんでゐる(二月十一日)

獨り紛爭審判 聯盟委員會設置

【ジュネーヴ十三日發】公聯理事會はドイツの要求により午後四時より開會、ドイツ、リスアニア紛爭中未決のメートル地方憲法審判問題委員會設置に決定した

青雲路の敵 迫擊砲で攻擊

【上海十四日發】今朝五時頃青雲路方面の敵は迫擊砲を以て我軍を攻擊し始めたので我軍は野砲を以てこれに應戰七時半敵を沈默せしめた、又江灣方面の敵も六時半頃曲射砲や機關銃で我陣地に向け砲擊し來り我軍は野砲で一齊射擊したので一たまりもなく九時頃附近の民家に放火し退却した

吳淞の敵兵主力 退却を開始

昨朝來わが軍猛擊

吳淞の尊き犧牲

戰死十五、負傷五十六

名譽の戰死者

租界を使用せずば防備行動も不可能

租界使用問題で回答

居留民熱狂的歡迎

わが植田部隊の上陸に

植田〇〇長も釋明

鎭江から大部隊輸送

敵陣地偵察

植田〇團 待機中

【上海十四日發】植田〇團長は十四日午前七時より郵船、鐵嶺、滿鐵三碼頭より上陸を開始し、植田〇團長は幕僚を從へて午前九時上陸し、楊樹浦の公大紡第一工場に新設された〇團司令部に入つた、上陸部隊は午後一時碼頭を出發宿營地たる東部紡績工場地帶に向つた

【吳淞十四日發】本日午前七時吳淞に上陸した植田〇團〇〇隊は小憩後江灣方面に出動した

【上海十四日發】植田中將麾下の金澤〇團は午前十一時上陸を完了一部は直に吳淞に向つたが他は大

平和解決困難

十九路軍撤退望みなく

【東京十五日發】第〇師團の上海上陸により同地方に在る第十九路軍の今後の態度は最も注目されて

後續部隊上陸

留守師團長補職

わが部隊緊張

部落民避難

我運送船〇隻上海へ向ふ

吳淞上空から爆彈投下

十三日の激戰

司令部發表

青雲路で應戰

支那軍放火退却

【上海十四日發】江灣方面の敵は我猛擊に遭ひ午前九時附近農家に放火して退却した、公園音樂堂より約五百米の地點は目下盛に燃えてゐる

上海出動部隊首腦部

【東京十四日發】上海出動陸軍部隊首腦部左の如し(第〇師團九基)

聯盟總會召集に我代表部反對

十六日に公開理事會

【ジュネーヴ十四日發】上海問題に關する聯盟總會召集に關し日本代表部は手續問題を理由として斷然反對の態度に出づるものと觀られてゐる、但し萬一總會が召集される曉に於て日本は聯盟より脫出するであらうと脅迫したと云ふ樣な說に對して日本代表は之を否定してゐる、又支那代表部は聯盟規約第十五條九項採用の期限に關し昨日事務局に送達した書翰が無期限に其の權利を留保する效力あるものにあらざる事を通達したと、尙明十五日には日支兩國代表を加へて非公式理事會を開催して總會召集を協議すべく又公開會議は多分明後十六日頃になるであらう

海陸最高首腦部會議

海軍々事參議官會議

海陸共同作戰協議

陸軍首腦會議

英米守備交代

米陸軍武官陳繼承と會見

樞府本會議

滿洲事變費緊急勅令案可決

緊急勅令公布

海軍次官外相訪問

社説

國際警察軍設置案
佛國の提案に就て

去る二日から開かれたジュネーヴの軍縮會議では、先日來其序幕として各國代表の總論的演說を續けて居たが、其の節佛國代表タルジュ氏は會議の劈頭に於て、國際警察軍設置案を提出した。之に對する各國代表の意向如何と見るに、チエッコ・スロバキヤ及びポーランドは贊成の意を表し、ロシア、イタリヤ、デンマークは不贊成。英國は隣國に脅迫を加へる方法を講ずるのは必要だと云つて居る。兎も角佛國の本意は、豫て準備會議に於て主張し續けた安全保障を、列國の共同行爲によりて獲得せんとするものゝ如くである

◇

いかにも佛國の主張する如く各國が各自の兵力によりて、自國の安全を保障せんとするは實は不可能の事である。何となれば今日の國際狀態にありては、自國を絕對安全の地位に置かんとする爲めには、他國を不安の地位に置かねばならんからである。之れ累次の軍縮會議が容易に纏らず、纏りても完全なる能はざる所以である。故に各國の共同行爲によりて、各國相互の安全を保障せんとするのは、蓋し適當な考案である。國際聯盟と云ふも軍縮會議と云ふも、目的は均しく此點に外ならぬ。而して彼等の中に、其の共同行爲を世界警察軍の編成にまで及ぼさんとするもの生ずるのも、亦當然の歸結である。併しながらそれに至るまでには、恐らく終極の目的で、其處には、まだ〳〵經過しなくてはならぬ多くの段階がある。其段階を踏まずして、一足飛びに其處に到らんとするのは無謀である。

◇

抑も各國の不安は國民の對峙に基く。國家が人類の平和と文化の發達だけを目的とし爲すならば問題なきも、今日の國家の多くは、鬪爭主義の白人文明が骨子となつて發達して來たものであるから、所謂近代國家の根本性質が變らない限りは各國の不安は到底免がれぬ。國家の根本性質を變改する爲めには、先づ國家の根本觀念が變られねばならぬ。それは早急には望まれない。故に現狀の國際狀態にありて、各國の不安を免がれ得る唯一の途は、世界各國の平和聯盟が造り上げる事である。其爲には各國軍備の全廢か、又はこれが極端な制限を必要とする。若し全廢か大制限の協定が出來上がれば、國際警察軍の設置說も纏まるであらうし、其效果を現はす事も出來やう。而して若しそれが纏まれば、國際軍設置の議も容易に纏まらぬであらうし、纏まつても、有力な國家を一個增加すると等しき結果になつて戰爭の危險は寧ろ增加する。伊國代表は、軍備制限の件はぬ國際警察軍の組織は無意、だと說き、獨國代表は、現代に於て國國が其の國防を國際軍の保護に依託し得るかと論じて居る。

◇

軍備全廢に就ては、露、獨、伊の各代表は、各自の立場から論じて居るが、固より實行出來ると考へての議論ではない。軍備の制限すら容易に出來ない現狀である。全廢論など無論問題ではない。而して軍備制限が如何に困難であるかは、國際聯盟成立以來十餘年間の努力を同盟し、それによりて成立した軍縮案が、如何に不完全なものであり、而かも其れに對して如何に多くの國家が、留保を主張し居れるかを見れば、蓋し思ひ半ばに過ぐるであらう。佛國の今次の提案は從來の此の情勢に慣假しての事であらうが、國際軍の組織、並に其運用は、軍備制限よりも更に困難事である事を思はねばならぬ。

◇

最も手近い根本問題から考へて見ても、國際軍を誰が指揮するか。抽象的に云へば國際聯盟が指揮するのだといふ。理論は其れでよいが、實際には果してどうなる。抑も國際聯盟なるものは、國家の上に位せれば、其全效を示し能はざるものであるが、今日の狀態では、これが國家の上にある事は不可能である。僅に各國の協調によりて、辛うじて其地位を保つてゐるに過ぎない。聯盟理事會又は總會に出席する議員は各國を代表する者であるが、事務局總長初め其他の事務局員は各國を代表する者ではない。故に此等の事務局員は其本質の法理上、各自本國の利害よりも、國際聯盟其れ自身の利害を第一番に考慮しなくてはならぬ。然るに實際を見れば斯くの如き公明正大の心事を抱く事務局員は現今のところ一人も無い。夫々各自本國の利益ばかりを考へる。例へば聯盟としては如何に樣々に附せねばならぬ事でも、此れを取扱ふ事務局員の本國には、每度筒拔けとなる。而して有力でない國家の國民たる事務局員は、夫々有力國の爲めに或仕事を爲して居るといふ事である。此れは今日の國家對峙の情勢から見て止むを得ない事でもある。

◇

斯くの如き狀態の下に、誰が各自の國家を離れて、只國際聯盟の忠實なる軍司令官たり將卒たる事を甘んずるものがあらうか假令之れありとするも、誰が安心して斯る軍隊の保護に依賴し得るか。此一事だけでも、國際軍設置の不可能な事が分る。其他、難點は幾許にても數へ得るが、今は之を說くの必要を見ない。今日の場合では、矢張り不完全ながらも、現存の軍縮草案を基礎として討議を進め、假令牛歩ながらにても、制限の歩を進め、而して或程度の制限に達したら、其時國際警察軍を作るがよい。それから遂には全廢まで漕付けて、世界平和の目的を達するといふ段取りで進むより外に方法はあるまい。

各巨頭長春に集合し新國家樹立を決定か
長春市政府の大修理

十四日吉林長官熙洽の奉天入りを皮切りに十五日は張景惠の奉天入りとなり十六日は馬占山の奉天入りとなるがこれは滿蒙平和の大恩人である本庄軍司令官に挨拶が勿論であるが各巨頭が同時に奉天へ集つた事は滿蒙新國家樹立の機運熟したためでその最後的意見の交換が巨頭の間に行はれることは當然である、然しこの奉天巨頭會議が最後の決定を與へるかどうかは疑問である、それは一兩日前より長春臨時地市政府公署の會議室を始め控室、待合室その他の大修理を加へられ嚴冬をダルマストーヴで過されたにも拘らず今日ダルマストーヴがペチカに改造され絨氈が新しく換へられ天井が塗り換へられ裝飾、調度品が整へられ椅子やテーブルが新品になりつゝある

ことは最後の巨頭會議を行ひ新國家樹立の日を決定し光輝ある新政權の公布をなすの前提に非ずやと見られてゐる、隨つて市政公署内の大修理を終るのは二週間の豫定といふから早くも三月に入つて同所内で巨頭の顔合せを見るであらうと思はれ、隨つて奉天に集まつた巨頭の奉天引揚げは豫想外に早い日の内であらうと觀測されてゐる【長春電話】

公共團體聯合會　きのふ大連商議々場

新國家問題を協議
各巨頭の往來頻繁

昨夜來奉ヤマトホテルに入つた吉林省長熙洽は直に臧省長を奉天城内の私宅に訪問奉天市長趙欣伯、官銀號總辦顧作霖と共に今曉午前二時半に至る迄新國家建設問題につき熟議を遂げたが今朝十一時更に省政府に臧省長を訪問本日來奉した張景惠、明日來奉する馬占山の到着を待つて開催さるべき新國家建國會議につき協議を遂げた、また十五日午後來奉した張景惠氏は午後一時から趙奉天市長の訪問を受け約一時間に渉り懇談、新國家建設に關する種々打合せをおこなつた【奉天電話】

新國家建設は急角度に成立發表を見るものと觀測されてゐる【長春電話】

張、馬兩氏の意見一致
省長事務引繼

【ハルビン十四日發】張、馬兩氏會見は十三日夜に至るもなほ繼續されたがその席上馬占山氏は黑龍江省長就任に先立ち、張景惠氏より一切の引繼を受けたる後、省長會議を行ひその結果滿蒙新獨立國建設の基本的項目とする

一、三省の統一
一、〇〇〇の樹立
一、憲法の制定
一、兵事機關の機構に就ては飽くまで多少とも歩調を揃へて最善の努力を圖る

事に完全な意見の一致を見た

黑龍江省長馬占山就任

【ハルビン十五日發】馬占山は十七日頃黑龍江省長就任を宣布する模樣である

奉天省商議聯合會

奉天省商議聯合會は本月二十五日より二十九日まで奉天に總會を開催し新國家建設に關し討議することゝなつた【奉天電話】

馬占山赴奉
各巨頭奉天に集合し滿蒙新國家建設へ

十四日長春にて赴奉の熙洽長官と別れた臧省長の密使奉天省財政廳長兼秘書長趙鵬第は同日午後十時二十九分長春發東支列車で赴哈、十五日張景惠と會見し臧省長の意を告げ更に熙長官の旨も通じたので、張景惠は赴奉を決意し十五日午前十時ハルビン飛行場發旅客飛行機で奉天へ出發午前十一時長春上空を通過した、又馬占山氏も十六日南下の豫定であるが、この東北四省の巨頭奉天集合で滿蒙新國家

賠償會議延期

【ロンドン十三日發】イギリス外務省は十三日聲明書を以てベルギー、フランス、ドイツその他諸國はローザンヌの國際賠償會議の開催を來る六月迄延期する事に同意した旨發表した

國際銀協會組織に
アメリカも參加に決定

【ワシントン十三日發】過般フランス議院は現在低落せる銀貨の購買力回復を目的とする法案を考究すると共に非公式の國際銀協會を組織すべく企圖しアメリカ議院に對しても參加方を求めたが、今回米政府及び南部諸州上院議員團は右招請に應ずべく意見の一致を見た

世界戰爭の危險を未然に防ぐが我等委員の希望
桑港にてリツトン卿語る

【桑港十三日發】支那調査委員一行は米大陸を橫斷して今朝當地に到着したが、直に當地出帆のプレシデント・クーリツヂ號に乘船一路東洋へ向け出發する事となつた出發に先立ち委員長リツトン卿は記者に對し左の如く語つた

目下極東の事態は樂觀を許さざる情勢で殺民次第では世界戰爭にならぬとも保し難い、これを未然に防止するのが我々委員の希望である

因にクーリツヂ號の橫濱着は二十九日か三十日の豫定である

ポーランド代表軍縮覺書を提出
軍縮會議順調に進捗

【ジユネーヴ十四日發】軍縮會議は先週で各大國代表の演說を終り今週中に大體一般的討議が片附くと觀られるが議長ヘンダースン氏は各國代表部に簡潔に具體的軍縮案を要約した文書を提出すべき事を要請した、これに對しポーランド代表は本日次の諸項を含む道義的軍縮覺書を提出した

一、虛僞の情報を流布する如き、一般に對する戰鬪を煽動する如きを禁止する國際法規を設けこれに各國の國內法制を準據せしむる事
二、國際新聞會議を屢々開催する事
三、國際問題を取扱ふラヂオ放送映畫劇場等の取締り
四、戰鬪排除の目的に基く學校敎科書の改訂
五、國際間の親善關係を危險ならしむべき事を一切愼むとの各國間の協定

臺灣總督後任
井上孝哉氏

坂西、花房兩氏渡滿の途に就く

有田公使東上

滿洲關係候補の陣營展望
振はぬ總選擧戰……(上)

總選擧期日も次第に切迫した、め政友兩黨を始め、無產各派その他の立候補者も全線に亘り漸く白熱戰を演出するに至つた、しかして今次の選擧は財界不況に祟られ、各派を通じて軍資金不足の感があり、又選擧第一主義の結果として候補濫立防止に努めた等の理由から、當初內務當局の豫想した候補者總數七百五十名より遙かに減少して居る、無產各派も依然內部鬪爭に禍されてこれが豫想の如き進出振を示すに至らない、尙現在滿蒙に關係を有する立候補者は左の諸氏であるが此等鬪士の戰績を一覽し且つ健鬪を祈つて置く(東京支社一記者)

小林絹治氏（兵庫縣第三區政新、元滿鐵社員）

胎中楠右衛門氏（神奈川縣第三區政前、元滿日重役）

仙波久良氏（滋賀縣全區政新、大連市議）

山崎猛氏

永田善三郎氏

春名成章氏

松野鶴平氏

市況

株式
東新引低落　五品も反落

商品
袋麻變らず　綿糸小緩

市場電報
神戸特產

東京期米

限月	後場寄	後場引
二月	二三六六	二三四四
三月	二四九五	二四六一
四月	二五八五	二五六一

東京株式
大阪株式
大阪紡糸
橫濱生糸
大阪期米
神戸期米

SANTE

肺結核の革命的治療藥

◎「サンテ」には、應用の適切を期する爲め、一號(有熱用)、二號(無熱用)、三號(虛弱質用)、の三種がある。これも創見者藤澤博士の苦心の現はれであつて、ピッタリ病狀に當てはまる藥を選ぶ事が治癒の促進にどれほど有効に働く事か云ふ迄もない事である。

◎「サンテ」は、各號とも、味緩和にして服用し易く、副作用・習慣作用、或ひは配合禁忌等の缺點のないのを特徴としてゐるから、他の藥物と併用する場合があつても何等妨げないのである。

【適應症】肺結核、肺浸潤、肺尖加答兒、肺氣腫、慢性氣管枝加答兒、肺炎、濕性並に乾性肋膜炎、結核性腹膜炎、喉頭結核、淋巴腺結核、腸結核、結核性下痢、肺門淋巴腺腫脹、脊椎カリエス、瘰癧、骨並に關節結核、結核性並に腺病性眼疾

【種類】
「サンテ」一號‖有熱期に適す
「サンテ」二號‖無熱期に適す
「サンテ」三號‖前記各適應症の恢復期並に結核性體質、腺病質、虛弱質、榮養不良に適す

◎別に醫家調劑用粉末あり

【藥價】
「サンテ」一號 一二〇錠 二圓八十錢 三六〇錠 八圓[illegible]
「サンテ」二號 一二〇錠 二圓八十錢 三六〇錠 八圓[illegible]
「サンテ」三號 一二〇錠 二圓五十錢 三六〇錠 七圓[illegible]

◎先づ文獻に依りて諸博士推奬の聲を聽け

文獻(實驗報告書)送呈

藤澤博士並に諸博士がサンテを結核性疾患の治療に應用されたる成績報告書及び「療養指針書」を御申越次第送呈す

臨床大家六十餘博士が

「サンテ」を各種の結核性疾患に應用せられて

その藥効を推奬せらる

醫學博士 岩井登門氏
醫學博士 生地憲氏
醫學博士 石山[illegible]昂氏
醫學博士 飯島近治氏
醫學博士 原田光男氏
醫學博士 濱田良輔氏
醫學博士 濱田正枝氏
醫學博士 宇田久雄氏
醫學博士 西田宗一氏
醫學博士 西村俊一氏
醫學博士 西浦清一氏
醫學博士 豊田正違氏
醫學博士 富島嘉門氏
醫學博士 大[illegible]二郎氏
醫學博士 大森斌彦氏
醫學博士 岡本達三郎氏
醫學博士 小野醇吉氏
醫學博士 渡邊貞惠氏
醫學博士 川上理作氏
醫學博士 川上勝恭氏
醫學博士 川村六郎氏
醫學博士 米山義積氏
醫學博士 高橋三千彦氏
醫學博士 高橋四郎氏
醫學博士 高山四朗氏
醫學博士 高島俊治氏
醫學博士 玉田壽次氏
醫學博士 竹島光藏氏
醫學博士 竹森啓祐氏
醫學博士 內藤業太郎氏
醫學博士 中村和雄氏
醫學博士 內田謙益氏
醫學博士 內野淺次郎氏
醫學博士 植苗福次郎氏
醫學博士 上森虎之助氏
醫學博士 野々上好太郎氏
醫學博士 野木愛三氏
醫學博士 黑岩文一氏
醫學博士 栗原基氏
醫學博士 松崎香住氏
醫學博士 增田貞一氏
醫學博士 藤[illegible]武夫氏
醫學博士 小竹政吉氏
醫學博士 小松原謙三氏
醫學博士 蘆名泰氏
醫學博士 齋藤齊氏
醫學博士 佐藤弘氏
醫學博士 澤田四郎作氏
醫學博士 櫻木勇吉氏
醫學博士 木村良恭氏
醫學博士 木崎正美氏
醫學博士 木許寬氏
醫學博士 百合野順太郎氏
醫學博士 三好毅一氏
醫學博士 宮井茂吉氏
醫學博士 宮崎正一氏
醫學博士 宮本博人氏
醫學博士 志賀豊氏
醫學博士 弘田茂富氏
醫學博士 森本正好氏
醫學博士 勝呂保氏
醫學博士 杉田貞之氏
(イ・ハ)

何が故に革命的治療藥と云ふか?

結核は、決して症狀を抑へたからとて治る病氣ではない。

結核に多くの場合隨伴し來る發熱、食慾不進、盜汗、下痢、咳嗽、血痰、頭痛、心悸亢進、疲勞感等の症狀に對して、先づその症狀を抑へんとあせるのは人情の止むを得ざる所であるが、此等の症狀は何に因つて起るかと云へば、結核菌の產生する結核毒素の中毒に因つて起るものであるから、單に症狀だけ輕減せしめ得たとて結核治癒の上には何等の効をも爲さないのである。

又、一時的に藥で抑へた症狀は、原因たる結核が治らぬ限り、何回でも繰返して發現し來るは當然である。

それよりも、根本的に結核菌を絕滅し、結核毒素を排除し、結核病竈の本質的治癒を計る事の方が、どれ程重要であるか解らない。

斯くして病氣そのものが治癒に赴きさへすれば、區々たる症狀などは、何等の處置を施さずとも、自然に消失して行つて、再び起る事はない。これこそ本當の治り方である。

新發見藥「サンテ」は、この見地より、結核菌に對する殺菌と排毒兩作用を徹底せしめ治療界に一新生面を開拓すべく、醫學博士藤澤好雄氏の多年苦心研究に成れるものであつて舊套依然たる結核治療に正に革命的の斷案を下したるものと云ふべきである。

世には往々にして、理論上効果あるべしと稱せられたもので、臨床上の効果擧がらず、期待を裏切られるものがあるが、「サンテ」に至つては、理論上はもとより、臨床上に應用して實に素晴らしい効果を示す事は、實驗者が總て驚嘆を以て報告せられる所である。

「サンテ」出でゝ クレオソート フォルマリンの類は影を潜めんとす

「サンテ」を結核の革命的治療藥といふ。これは誇張でも何でもない。事實の前には何人も之を否定する事は出來ないのである。見よ、「サンテ」一度世に出づるや、陳腐なるクレオソートや其製劑、又はフォルマリン製劑の如き、日に〳〵醫家の注意より遠去かり、患者も亦之に賴らず、急速に治療界から見離されつゝあるでは無いか。

これ即ち「サンテ」が此等在來の製劑とは根本的に相違し、其効驗に於て格段的優秀なる事を實驗者が總て認められたる結果である。

力強き「サンテ」禮讃の聲は、今や結核治療界を風靡せんとしてゐる。

全國臨床醫家に急告 ‖粉末二五〇瓦入發賣‖

在來「サンテ粉末」は五〇〇瓦入のみでありましたが、今回御便宜を計る爲め半量の二五〇瓦入も發賣する事と致しましたから御諒承を願ひます。

幸ひに、「サンテ」が御期待に背かず、着々良好なる治療成績を擧げ御賞讃御推奬を得て居ります事は感激に堪へません。結核撲滅に對する弊社の燃ゆる許りの熱意に御共鳴を賜はりまして、今後一層の御援助御協力を冀上ます。

肺病を治すか否かの分岐點

結核藥に對する認識不足ほど患者自らを毒するものは無い

世に、結核藥又は結核藥劑と稱して販賣されてゐるものは、實におびたゞしい多數に上つてゐる。

藥店の店頭を一寸のぞいて見ても、新聞や雜誌の廣告を一瞥して見ても、正に

結核藥オンパレード の感がある位であつて、惱める患者が、あれこれと迷ひわずらふのも誠に無理からぬ事である。

然し乍ら、此等多數のいはゆる結核藥の中に、眞に結核そのものを治す効力のあるものが果してどれだけあるであらうか。

その多くは、結核性疾患に伴つて起り來る症狀の一部を鎭靜するだけ、即ち熱を下げるとか、ねあせを制限するとか、食慾を進めるとか、咳嗽を抑へるとかいふに止まり、結核藥に非ずして單なる症狀鎭靜劑にしか過ぎないのではあるまいか。

その樣な藥をいくら浴びるほど服んだとてたとへ一時的に症狀は輕減しても、結核そのもの丶根本治療にはなる筈がない。その正體に就ての認識が足らず、結核藥と名がつけば何でも手當り次第に鵜呑みにしてかゝらうとする患者は、自分自ら

治る希望を捨てた人 と云はねばならないのである。

自分の病氣を治さうと思へば、モット眞劍に、自分の服む藥に就て正しく考へねばならない筈ではあるまいか——

今茲に述べんとする「サンテ」は、別項にもある如く、結核の病竈に向つて[illegible]核藥であつて、藥物的作用を[illegible]そのもの丶本體に藥理効果を及ぼし根本的の治癒を計る獨特の創意に成る發見藥である。

見方に依れば、病竈に對する作用のみに急にして、現に患者を惱ましつゝある各種の症狀に對する處置を閑却したるもの丶樣にも見ねやう。然し、實際は閑却するどころか、病の本源を鎭める事が、即ち症狀を輕減する事に一致し而も最も早道なる事を知るものである。

人爲的に外部から症狀を抑へる事は、やゝもすると反動を伴ひ易い。のみならず、各種の症狀の起り來る事は、起るべき原因あつて起り來るものであるのに

その源を究めずして 單に表面に現はれた症狀のみを抑へんとすれば、どうしても無理を生じ易い。

若し、先づその源にさかのぼつて、結核毒素を排除し、症狀の起り來る根を斷つ事が出來たなら、少しも骨を折らずに極めて自然的に症狀を消失せしむる事が出來、病氣そのもの丶急所なる本質的治癒を計る事を得るに違ひない。即ち藤澤博士が苦心されて「サンテ」を御見せられた核心は此處にあるのである。

その効果の手近な證明は「サンテ」を實驗せられた各博士の報告書に見る事が出來る。

——食慾大いに增進し、健康時と同量の食餌を攝るに至る
——微熱去り、平溫となる
——ねあせ止み、夜間安眠する事を得
——胸痛去り、頭痛、全身倦怠を感ぜず
——咳嗽鎭まり、血痰止み、呼吸[illegible]
——肩こり、全身異和感去り、元氣振起す
——ラッセル消失す
——下痢頓挫す

斯くの如き著明な症狀の減退が「サンテ」の服用後、早きは四五日

おそくも一週間目頃 からメキメキと現はれ來る事屢々であつて、患者の氣分は、日增しに不快なる症狀の消失し行くに從ひ、益々明るく輕快となり、[illegible]も增加し、步一步全快への堅實な步みを進めて行くので各博士とも非常な喜びを以てその[illegible]果を報告せられてゐる。

單なる症狀の鎭靜劑であつても、この樣に迅かに安全に奏効を見るのは稀である。まして、僅かに一劑にて、斯くも多數の症狀を一擧にして消失せしめ得るのは、前述の通り、「サンテ」が、病の本源を爲す病竈に直ぐ[illegible]作用して忽ち殺菌排毒の効果を現はす獨特の製劑なればこそであつて、斯くてこそ

始めて本當の治癒が そこに期待出來得るのである。

なほ、本劑か、服用極めて安易安全であつて、過敏性の婦人や小兒も喜んで之を服用し得る事、又少しも副作用習慣作用なく安心して持長せしめ得る事、及び、本劑のほかに下熱劑や其他の症狀鎭靜劑を併用する必要は更になく(併用する事は妨げなけれどもその必要なし)唯一劑のみにて十分各種の効果を同時に現はす故、從つて頗る經濟的なる事など、各博士の一致して推奬せられる所である。

御註文方法

◎御註文の際は必ず「サンテ」何號と御明記の事
◎御送金は振替貯金(大阪三五七番)御拂込か、又は[illegible]替御利用が御便利、前金の御註文には送料を要せず
◎代金引替便ならば御註文主にて送料御負擔の事

各地著名藥店及び百貨店藥品部にて取次せらる

大阪市東區北濱一丁目

參天堂株式會社學術部

振替貯金大阪三五七番

我社が明治二十二年呱々の聲を擧げて以來既に四十四年、此間製藥家として極めて眞面目に且つ研究的態度を以て一貫し來れる事は世に認めらるゝ所であります。茲に「サンテ」を發賣するに當りて社會衞生上責任の益々重大なるに鑑み、一層慎重なる注意の下に之が職責を果すべく充分の用意ある事を附言致します。

北滿戰場の露と消えた 七勇士の遺骨

戰友に護られ寂しく大連に着く けふ、海路母國へ

ハルビン及び双城堡方面の戰鬪に參加し遂に壯烈なる最後を遂げた清水飛行少佐ほか六勇士の遺骨は同中隊の守田飛行大尉以下數名の戰友に護られて十五日十六時五十分大連驛に到着した、驛頭には一昨日並びに本日北滿より凱旋して目下大連滯在中の野戰重砲〇隊の山下少佐以下各將士はじめ、市關係、在郷軍人會、市內各男女中等小學校、各宗教團體並に一般市民多數出迎へ、讀經弔旗に勇士の靈を慰めたが、遺骨は最後部客車の一部に安置され遺族及び淨土宗教團體より派遣された僧侶に依つて回向されてゐた、大連驛着と同時に遺骨はプラットホームに設けられた祭壇に一時安置され、守田大尉より出迎へ人一同に對して簡單なる挨拶あり、一同あらためて遺骨に對し最敬禮をなしたるのち、遺骨は戰友の手によつて再び護られ自動車にて常安寺に向つたが、十五日夜は同寺に於て通夜が營まれ、十六日出帆のあめりか丸で內地歸還の豫定である（寫眞は大連署の遺骨）

治安維持に依て 同胞問題も解決

穗積課長歸鮮の途語る

在滿朝鮮人問題に關し重要協議の爲め過般赴奉した穗積朝鮮外事課長は十三日午後九時三十分過安東驛に歸任したが安東驛にて語る

今度の出張では奉天を中心に各地を廻りハルビンにも一泊して來た、滿洲は一般に平穩に歸してゐる、然しハルビンは最近に事變があつたので俄に避難民が殺到し一時は千二三百名に達してゐたが然しこれ等

避難民 は全部ハルビン近郊の者であつた爲に事變の鎭靜さ共に原耕地に歸へつたり其他に移住する者等あり現在では五六百名程度に半減した、長春の萬寶山にはまた幾分殘つてゐるが同胞さしても事件の發端地だけに深く印象づけられてゐるさ見える、だが今尙奧地方面は敗殘兵等の橫行暴擧續いてゐる故今後全く避難民の絕へるさ云ふ事は望み難い、ハルビンの避難民で一番困つたのは收容所だ、朝鮮總督さしても成るべく在滿避難鮮人を救濟する積りであるが一般に救濟を受けられるさ云ふ自覺心を起さしむる事は不爲だらうから此の邊を特に考慮を要する、總督府さしても救濟資金は何回さなく有益に使用したさ思つてゐるが從來の成績はまるで

雪達磨 に陽が射した如く共に消えて仕舞つた觀がある、安東朝鮮人會では非常に同胞の爲めに世話してゐるが感謝の極だ特に何千人かの避難民の世話は困難であらうが當局又は一般共に斯うして盡力すれば其處に何等かの具體的救濟方法の實現を見るだらう、今回赴任するのは同胞の具體的救濟方法を打合せる爲で用件の濟み次第早急再び滿洲に出張したいさ思つてゐる救濟其他については勿論軍部外務其他各方面さも隨分骨を折つて吳れてゐるが在滿同胞に關する限り本府が中心さなつて世話せねばならないが先づ現在の避難民を前住地に歸還せしめることだと思ふ、現在の避難同胞は約一萬五千名程度だが今後突發事件のない限り概して

一段落 の傾向がある、之等同胞に對しては何れも世話すべき人に手不足の感があるので目下研究中である、何れ本府から囑託その他指導員等十幾名を滿洲に派遣する事になるかも知れぬ、要するに滿蒙治安維持が凡ての解決の基礎をなすものだ【安東電話】

萬寶山事件 調査員出發す

二十日頃歸來の豫定

〔前略〕領事館に集合した萬寶山日支調査委員は十五日午前十時長春出發現地に向つたが日本側九名、支那側六名で、日本側委員は倉本書記生、田畑領事館警察署部長、鮮人民會長、萬寶山水田組合長、その他で、支那側は長春縣農會長、縣秘書その他で護衛兵は縣公安局馬隊二十餘名で、一行の歸長は十九日か二十日頃さ見らるが、萬寶山事件もこれによつて圓滿解決を見る筈である【長春電話】

一二着染矢（農大）五三分四七秒
◇中等學校
一着木村（關東商業）五五分一秒
二着木村（立正中）五七分二六秒
三着今井（植民貿易）五七分三七秒
▲大學專門學校
一着竹中（慶）五三分四六秒八

……陣雨と泥濘の惡コンディションに拘らず新記錄續出した、新入賞者左の如し

十哩マラソン 新記錄續出

【東京十四日發】マラソン聯盟主催十哩マラソン大會は十四日午後一時から學習院、練兵場コースで

御下賜の繃帶を

秋永少佐捧持し着奉

皇后陛下の有難き御思召しにより關東軍麾下の將士に對し下賜された二百八十八人分の繃帶は陸軍省衛生課秋永少佐捧持し十四日午後一時着奉直に關東軍司令部に移された【奉天電話】

上海事變傷病兵 畏し御慰問

御紋章入り御菓子を捧持 出光侍從武官西下す

【東京十五日】今回の上海事件に出動し名譽の負傷をした橫須賀、佐世保の各海軍病院に收容して加療中なる傷兵御慰問のため畏き邊から御沙汰を拜した侍從武官出光少將は御下賜の御紋章附御菓子を捧持し十五日午後一時東京驛發佐世保に向つたが約一週間に亙つて各病院に赴き傷病兵にそれぞれ聖旨を傳達する筈である

旅大紹介の 映畫製作

滿洲事變を取入れて滿電が

滿電自動車部ではかねて內地より海路渡滿する船客に對して何等かの形式によつて旅大の紹介をなすべく計畫中であつたが、最近旅大風景を取り入れた映畫を作成して船中でこれを映寫し、船客の慰安かつ旅大の紹介をなすことに決定し、この製作には滿洲映畫社が當ることゝなり十四日より撮影を開始した、十五日は市內のロケーションをなし十六日午前八時頃より旅順方面のロケーションをなす筈で、ストーリーは滿洲事變を取り入れた相當興味あるものである、なほ同映畫完成後はそのうち二本を取寄せて寄贈する豫定であると【寫眞は大廣場におけるロケーション】

わが正義行動を 列國代表も諒〔解〕

自分の歸朝要務〔は〕 奉天にて 有田駐墺公使談

外務次官に擬せられてゐる有田駐墺公使は歸國の途次十三日夜奉天に於て……十四日十五時二十五分發安奉線急行にて歸國したが離奉に際し記者に左の如く語つた

本省より突然「朝」を命ぜられたまでで、歸してみなければ自分の要務は判らぬ、滿洲又は上海事件に對する歐洲列國一般の空氣さいふものは、只國際聯盟に加入してゐるものだけは、色々問題にしてゐるやうである、その他のものは經濟關係もあつて〔何〕ご話にもしてゐない、國際聯盟に於て最初支那代表が說明してゐる如く、自分の國に於て日本軍が騷ぎ廻つてゐるが如く說き日支關係を知らない素人筋の者には如何にも尤もらしく考へられるが、その根本から間違つてゐるここで支那代表の說明も直ちにその虛僞が暴露されたわけである、これに反し日本側の權益擁護のため正々堂々と執つた處置も各列國の代表に諒解され今日の如き氣運になつてきたわけで日支關係をよく知らないものは或は反對を唱へてゐる者もあらうが、この事情を知れる者は一人さして反對する者はない、シベリヤ線も列車こそ不……

凱旋の部隊慰問

軍馬には人參を振舞ふ 大連婦人團體聯合會で

大連婦人團體聯合會では來る十八日午後一時半より協和會館に於て今回凱旋して來た野戰重砲隊七百名を招き左のプログラムによつて慰安會を催すが同時に軍馬三百七頭にも人參をふるまふ由

開會、凱旋の歌、舞踊、浪曲、落語、兒童の童謠、舞踊、幼稚園その他各志婦人の餘興種々ある見込であるが各婦人團體より三名及び有志婦人の手傳ひを希望してゐる

名歌手宮川美子の 滿洲號獻金獨唱會

來る十七、八日兩夜協和會館

會費　一般二圓、俱樂部員・讀者一圓五十錢

會券は十六日午前九時より社員俱樂部にて發賣

主催　滿洲日報社

後援　滿鐵社員俱樂部

支那人溺死

十三日午後周水子より北嶺子へ向け海上凍結せる氷上通過せんとした一支那人は途中氷が割れて陷沒溺死したさ訴へあり柳樹屯派出所において目下搜査中

……完全なものであつたが今の處平穩無事である【奉天電話】

米副領事を 毆打す

【上海十四日發】アメリカ副領事アーサー・リングワルト氏とアメリカの國籍支那婦人が北四川路流路附近で日本人自警團に毆打された事件あり、アメリカ總領事より抗議して來た、當局は一般民の暴行事件には頭を惱ましてゐる

前藏相暗殺拳銃

伊藤少尉の盜難品 上海事件で名譽の負傷した

【佐世保十四日發】井上前藏相暗殺犯人が使用の拳銃出所につき當時橫須賀在勤中の伊藤海軍少尉から盜難したとの供述により警視廳より出張の高〔橋〕警部は上海で負傷し目下佐世保海軍病院に入院中の同少尉につき十三日夜臨床訊問の結果犯人の供述は間違なきも、少尉は犯行に關係無い事が判明した

東方革新團 協會脫退

名古屋で所擧げ舉行

【名古屋十五日發】東方力士新團は十五日午前九時後援者井上勘太郎氏方に協議會を開いた結果大相撲協會と絕緣の聲明書を發表した直に協會に對し脫退屆を發送した、革新團全力士は十七日上京各自の荷物を親方より受取りて名古屋に歸り來月初め新興力士團を迎へて名古屋に第一回旗揚げ興行を行ふ事に決定した

巡査部長に 斬りつく

民政黨員ふたり

【熊本十五日發】熊本縣の政爭はいよいよ激化し流行に政爭王國を思はせてゐる折柄、上益城郡御船警察署勤務巡査部長菊山勳(三)が今朝八時出勤の途町中央の街路にさしかゝつたところ兇漢三尺餘の日本刀を所持せる暴漢二名現れ矢庭に背後から斬りつけ部長の頭部顏面に重傷を負はせた、部長が血まみれさなつて抵抗せんとするやさらに背部その他に深手を負はせ犯人は御船署に自首した、右は同所民政黨員福岡高則(三)島田浩(三)といひ部長は瀕死の重態である

丹那隧道工事

本年中に完成

【東京十五日發】熱海線丹那隧道東口の大斷層は一昨年前進掘鑿を中止し世界最初の試みとして斷層面にセメントを插入しこれを硬着せしむる方法を行ひ大成功を收め前進掘鑿を開始し四十尺の斷層を十二日無事掘り拔けた、この分で特に支障起らぬ限り本年中には完成する見込みである

二中の卒業式

大連第二中學校では來る二十二日午前十時より同校第六回卒業證書授與式を行ふことさなつた

動亂渦中から

上海にて　加藤保敏特派員　(二)

魔都の呼吸は止つた

□□□□今は華かなりし日の夢さめて　彼の女らの頰に人間らしい淚□□□□

いまだに上海は燃えてゐる、夜赤な戰火は夜空を不氣味に明るく染めて魔都上海を蝕ぶ樣に日毎に火脚は延びて行く、事變以來既に半月、上海人は一樣に戰禍臭い身體を針の樣になつた神經に交錯させ困苦さ窮乏を背負つたまゝウロウロしてゐる、……

行く許りだ、五日の在留邦人避難者が四千五百、八日になると最早六千を突破してゐる、十一日出帆の御用船第三大藏丸では無慮在留同胞の殺到で係員が目を廻す始末だ

×　×

妾も明日の船で長崎に歸るわ、いくら頑張つたつて、よしんば自分の身體がひき肉の樣にクタクタになつて働く氣があつても……

……稼ぎ口がなくなりや仕方ないぢやないの

二百名以上もゐたダンサーも僅か各所に點在するもの約三十名、そのうちの姐さん株がそう云つて悲鳴を揚げてゐる、もうこうなるさ小生意氣で捨鉢でツンさ澄まして居た彼女等もから意氣地がないゴマのハエくさ振りかけられた握りめしさタクワンがはじめて口に

はいつた時白粉氣のない頰を人間らしい淚がツーさ走つたさ云ふ、何れにしても明日はダンシングドレスをスウツケースに收めた……

〔……〕事件發端さ共に砲軍の打ち出す砲彈は閘北の空に炸裂し續いて〔……〕は騷然たる便衣隊狩で血の手あ〔……〕る程驚いた支那民衆數百萬はゾロゾロ動いたのである、恐らくこれを空中から見下したら避難支那人の流れは壯觀だつたに違ひない南京路、蘇州路、四川路それ等は布團をかつぎ家財を纏め避難の群した人の流れで滿たされた、そして結局は行く的がないので市中を巡回に亙つて歩き廻つたのすらあると云ふ、曾ては繁華を誇つた支那のブロードウエイも汚れた避難支那人に占據されたのだ

×　×

同時に戰火の洗禮を受けた上海にあるさあらゆる國際的機關はピタリと活動を停止した、當時は銀行が休業「そんな紙幣は受取れない」紙幣の價値がやかましくいはれたものだ、電報が打てない僅かに外人經營の大北電信會社がこの間に苦い汁を啜つたばかりだ、要するに上海は一時呼吸が止まつたのだ（寫眞は未だに燃え續ける上海の市街さ避難の支那人）

……滿蒙自由國の樹立の曉、是非共實現せしめたいのは日本人の集團移民である、但しこゝに留意されるのは在滿邦人の現狀さ滿洲における內地人發展の跡さが極めて類似してゐることである

……◇……

〔……〕を領有して四十年になる、それに內地人は二十萬前後であること、蕃民が蕃賃組合運動の叫びを擧げたり、本島人に壓迫されたりして共喰狀態にあること、日月潭の水電工事に一千萬圓もの機械を購入した儘九年目（昨年）に至つて漸く着手したことなど全くそつくりである。

……◇……

臺灣では勿論官憲の壓迫がなかつたのみか、內地人移住のためには多大の努力さ資力を惜まなかつたに拘らず現在二十萬人そこそこに過ぎない、しかも臺灣は一年中働けるに反し滿洲での農民は半年は遊ばねばならぬ、かれこれ考へるさ、滿蒙への集團移民の前途は容易ならぬものがあり、それだけ國家方面の援助は勿論資力、智識、人の合理的運用が緊切であらう……さ元臺灣に居た某氏の話

曙の鐘（198）

倉田潮 作
河野想多 畫

水の底（一）

穴倉の口から水が湧き出して來るのを知つた時、よもぎはぞつとして立ちすくんだ。

水責めにして殺すつもりなのだ。見る間に水はくるぶしを沒したが、膝を上に冷たくあがつて來る。

「誰か來て……」

破れたやうに叫んで、じやぶじやぶさ水を蹴ちらしながら、一方の壁に殆ど無意識にとびついた。徒勞だつた。上れる譯がない。誰も來ない。

耳をすますと、湧きあがつて來る水の音が、妙に殘忍に聞えた。

「誰か、誰か……」

叫びながらも心の中では、もう駄目だとはつきりさ思つた。騒ぐだけ無駄だ。水が胸まで來てしまつた。殺されるより外に道がないのだ。

涙が眼に一杯になつてゐながら不思議にも悲しみは感じなかつた。ひどい力で頭を殴りつけられた後に似た鈍い痴呆の中に、烈しい狂燥を感じるばかりだつた。

ふさよもぎは或ことを思ひついて跳ねあがつた。着物を引き裂いた。怖ろしい力にびりさ破れて着物を──一瞬間に救はれるさ思つた。

穴へ──栓。代りにまさめて突つこんだ。穴は必死の願ほどもある。突きこんだ着物ではまだ足らない。下着も全部ぬぐが早いか水に浮いてゐた假面の扮裝も一緒に固めて……穴がうまつた。栓になつた。

救はれる。喜びの叫びにのつて

「助けてえ……」

叫びながらしつかりさ着物の栓を兩の手足でおさへつけた。水はからんだ彼女の頸の下まで來てゐた。でも栓のきゝめは、有難い。水口がふさがれた。水の出るのがやんだやうだ。

よもぎはなほも破れたやうに救ひを呼びながら、思ひがけない昔の、幼い頃のまぼろしを思ひ浮べてゐた。彼女は六歳ばかりのおかつぱに髪をゆつて大柄なめりんすを着た少女だつた。眠りかけて、祖母らしい人の子守歌を夢うつゝに聞いてゐる。

「不吉だ」

彼女はさう思ひながら、まぼろしを振り消して、また狂つたやうに救ひをよんだ。死の迫つて來る瞬間には、かう云ふ幼い頃のまぼろしをふいに思ひ出すさ人に聞いたことがある筈だつた。

暗い。闇が何の位置にあるのか解らない。死ればかう云ふ暗がりになるのだらう。あゝ云ふまぼろしが見えるやうでは、神は生を與へてくれないで、かう云ふ死の暗がりに導き給ふつもりかもしれない。

──さう云ふ考へのきれぱしが頭の中で渦をまいた。殘念だ。もう一度生き度い。生きて……

急に息がつまりさうになつた。何うむせかへつて顔を外向けた。もう一度顔をもしたことだらう。もう一度顔をもさの位置になほして息苦しさをこらへてゐると、今度はちつそくしてしまひさうになつた。

原因がわかると、ぞつさした。水の着物で穴に栓をしたので、水の出方は少くなつたが、全くさまつたのではなかつたのだ。着物をぬらし、着物にしみ通つて出て來る水もあるし、着物のわきから湧き上つて來る水もある。その上知らぬ間に水かさが増して鼻から下が水につかるのだ。顔が亢奮にほてつて、その上非常に狼狽へてゐるので水につかつたのを感じなかつたのだが、成る程水の中では息が出來ないのもつともだ。では、栓をしたので時期は延びたが、死をのがれたのではなかつたのか。たゞ死期が數分間先に延びたゞけなのか。よもぎは救ひを叫びながらさう思つて、打ちのめされたやうな失望を感じた。

不吉な死の前兆さも云ふ可き幼い頃のまぼろしがまた心の一方に映りはじめた。

水かさは次第に増して、額なかくし顔にのぼつて來た。つひによもぎは手で栓をおさへてゐることが出來なくなつた。死はつひに數秒の前に迫つた。

けふの放送

大連 JQAK

二月十六日

▲午前七時　ラヂオ體操
▲午後六時五十分　ニュース
▲華語講座「テキスト第七十九課」滿鐵學務課秩父固太郎
▲漫談「街頭漫談」白藤六郎
▲小唄數種（唄三、線）田村てる枝
▲清元「三千歳」清元研究會社中　三、線清元延釜富
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニュース

東京 JOAK

十六日午後六時三十分
▲選擧講座「第三次普選に際して」東京市長永田秀次郎
▲浪花節「雷電爲右衛門」東家鶴燕
▲小唄イ「春雨に相合傘」ロ「逢ふさ見し」ハ「梅は香ひ」ニ「比翼塚」ホ「私しが在所」唄柳小滿孝、三絃柳小滿笑
▲映畫物語「令嬢さ與太者」川春葉、伴奏指揮稲葉東四郎

「滿洲號」へ獻金

（大連市役所内）軍用飛行機獻納委金募集取扱所中央委員部

▲千圓高橋孫兎喜▲五百圓玉久良小倉玉江（開店三周年記念祝宴費を献金）▲四百圓池永充實▲三百圓住友社員山滿程次▲二百圓首藤俊雄▲一圓中村左右策▲同大連府物整理組合▲同市亞土木企業株式會社▲同鎌田琴子▲同山川吉雄▲同大連海友會一同▲七十圓常福寺寒修業一同▲五十圓滿洲美術人會▲同資性確成▲三十二圓山川吉雄外十四名▲三十圓東洋ホテル▲常盤會ホテル▲二十圓山口理妙外十四名▲同平島丸乗組員一同▲同堀部徳松▲同大連般若講一同▲同川上千春▲同赤松明昭▲名越源太郎▲同大連初音町組合▲同御大典記念貯金會▲十五圓大連敷島小學校少年團有志▲同カフエー京極女給一同▲十圓松田榮一▲圓大石萬露▲同福田徳造▲同柳生龜吉▲同三十里堡驛長外九名▲八圓小村俊男▲五圓田中重二▲同建部昌昭▲三圓五十錢赤井隆實▲三圓吉座廣▲同武田辰郎（朝日小學校三年生）▲同上原わか子外二名▲二圓遼東神楽所▲同小野武八▲同江尻計夫▲一圓五十錢豐福光次▲一圓竹下吉次▲五十錢北風京藏

小計　三三五百九十一圓五十錢

第卅九回 満日勝繼碁戦

（湯淺氏二回　勝三回目）先二二子番　湯淺唯二氏　初段　井上太市氏

●六四（五七の處粘ぐ）
○八一タの十二　●八二タの十三　○八三ヨの十三　●八四カの十二
○八五ハの五　●八六ハの五　○八七ロの五　●八八ハの三
○八九ロの四　●九〇ハの六　○九一ニの五　●九二ロの三
○九三ホの四　●九四ニの三　○九五ホの五　●九六ホの三
○九七ロの六　●九八ハの七　○九九ロの七　●一〇〇ハの八

▲清水三段講評　白八五以下の連絡面白くない此場合（い）に掛り黒の應手を窺ふがよい但し右上隅に掛るさすれば單に八七に打つて樣子を見る位でしよう黒八六の神れは烈しくして白の作戰を破る良策　黒九二は九四に粘ぐがよい

―【5】―

奉天商埠地内の滿鐵所有地を貸下
近く諸準備の終り次第地方部で出願者の詮衡に着手

最近時局も漸次安定に向はんとする折柄奉天市街の今後の發展を見越して地元の滿洲は勿論内地方面からも滿鐵が奉天商埠地に所有する約七十五萬坪の土地を目ざして貸下願が殺到しつゝあるが滿鐵地方部では附屬地内の所有地のうち貸下げ得るものは殆ど

全部 今日までに處分し盡り商埠地内にのみ貸下げの餘地を存する狀態であり從來の幾多の例に鑑み利權屋等の介入を絶對に排する見地から非常に愼重な態度をもつて之に臨んでゐるため地方事務所でも本社の指令なきため今日まで未だ一件も商埠地の貸下許可を行つてゐない狀態にあるが最近に至り滿鐵首腦部の意向として市街地並在留邦人發展策の見地から適當にして眞面目なる出願者に限り充分なる審査を經て貸下許可を與ふることに大體方針の決定を見たので愈々近く諸準備の了り次第地方部においてそれ〴〵出願者の

詮衡 に着手し適當に貸下を開始することになる模樣で奥屋地方課長は奉天事務所とのこれ等の事務打合のため十五日夜行にて赴奉した

奉天省學校 近く開校

奉天省の小學教育は事變以來引續き停止され省當局は一日も早く開校の形である
では眞夜中にか、はらず送迎して下さつたには涙がこぼれた、自分達の今後は解らない約一週間待機の形である

校すべく準備を急いでゐたがいよ〳〵近く開校を見る運びとなつたので省教育事務總處長金毓黻氏は十二日全省の各小學校長を召集して開校事務協議を行つた結果
一、省立小學校は官有校舍を除く外は家主に對し事變前後までの未拂家賃は支拂の義務を負はず今次開校の日より計算すること
二、期日を限つて舊教員を復職せしめ且つ生徒を復校募集すること
三、各校の豫算を提出すること
等を申合せた【奉天電話】

驅逐艦入港

我が驅逐艦若竹、吳竹、早苗、早蕨の四隻は十六日午後〇〇方面より〇〇補給の爲入港するさ

間島の形勢不穩
王德林軍叛亂態度露骨

【間島特電十五日發】曩に滿鐵社員二名を射殺した王德林の部隊七百名は反吉林軍の色彩濃く不穩の形勢を示し延吉警備軍司令の武裝解除命令に背き十四日夜汪淸縣屯田營に向つて行動を開始した、これより先十二日夜その一部隊は同縣牡丹川の保衞團を襲撃し銃器彈藥を奪ひ同時に各所において住民より銃器を徴發する一方鮮人を煽動して打倒日本を叫び愈々反亂の態度を露骨に現したので延吉警備司令は討伐軍を續々送つてゐる尚吉會鐵道測量隊は中止の已むなきに至り測量隊は一先づ根據地に引揚げた
警察隊は當非番員全員を召集し急遽午後二時南臺方面へ出發した【大石橋電話】

張海鵬軍 彰武を占領

張海鵬軍第四枝隊は去る十二日彰武方面において張學仁の指揮する匪賊約六百名を攻撃しこれを追撃して午後六時彰武に入り市街戰を演じた、然る處敵は四、五百の增援を得たが第四枝隊奮戰し悉くこれを撃退し確實に彰武を占領した匪賊は死傷百を遺棄して退却した又張軍は賊十三名を捕虜とした、この討伐において彰武自警團は第四枝隊に協力し徹底的に賊の剿滅を期して居る【奉天電話】

威力を發揮して凱旋兵着く
けふ大連驛頭に迎へられた 晴々しい武勳の輝き

今次の滿洲事變に我が武力の最大を云はれる獨立野戰重砲兵第〇〇隊第〇〇隊は中島〇隊長に引率され十五日午前九時特別軍用列車で華々しい武勳に晴々しく面を輝かし市民の歡呼の聲に迎へられて目出度凱旋したが、約十分大連驛に停車市民の歡迎に謝意を表して後貨車卸し作業のため大連埠頭に廻り正午無事

大任を 果した、一同は待合所において晝食を取つたが中島大尉は語る
御多忙中御出迎ありがたう、自分達は去十二月二十九日御用船平仁丸に乘つて渡滿したもので決死の覺悟で奥に向つたものだ僅か一ケ月餘で皆樣と又會へやうとは思はなかつた、元來自分達の火砲は生れて初めて海を渡り滿洲の土を踏んだもので巨彈をもつて大いに敵を撃たうとしたが殘念な事に錦州の如きも自分達が遼陽を出發の朝風を食つて逃亡してしまつた樣なわけだ同じ樣に反吉林軍をハルビンに打たんと奉天を出發したがこれも忽ち自分達の

行動を 知つて逃げる樣なわけで巨砲は肆肉の嘆のうちに皇軍威力の餘裕綽々たるを示してゐたやうな次第だ、しかし土匪討伐其他で約二百四十發位打放したが性能萬點の成績を納めた今度こちらに來た時は沿道各驛

南臺不安 我警官隊出動

十五日午後零時五十分から南臺派出所よりの電話によれば賊目不詳の馬賊約五十騎南臺西方約十五支里の舵龍溝を襲撃し掠奪放火をなし漸次南臺に移動襲撃するものと見られ、よつて大石橋警察では小隊

わが飛行機 匪賊を攻撃

鐵嶺下臺務處には事變前五四、一九〇〇餘石の鹽が貯藏してあつたが事變後匪賊に掠奪せられ約十七萬石を剩すのみとなつた、十四日我飛行機は天橋嶺附近を飛行中同地鹽務處より驅を掠奪逃走中の賊の馬車數臺を認めこれを攻撃し潰走せしめた【奉天電話】

けふ大連着の凱旋兵

上海事件と外、支人の態度
概して我行動を是認

上海事件に對して上海の外人及支那人は果してどう考へてゐるだらうか、之は外人にせよ支那人にせよ各自がその立場々々に利害關係によつて自から異るが、つまり日本軍の行動が自己に取つて直接又は間接に有利であり或は將來において有利な結果を齎すであらうことを豫想して多くは日本軍の行動を謳歌し或は肯定し或は默認してゐる、

先づ手近い例として騷ぐれば恰も日本軍が行動を開始した翌日即ち一月二十九日共同租界工部局はかねて支那當局との間に懸案となつてゐた滬西エキステーション地區に電柱を樹つるべく、多くの苦力を繰だした事實がある、さいふのは同エキステーション地區は支那當局との間に管理權問題によつて長い間事爭紛が行はれ、工部當局は何か機會さへあれば同地區に乘り込まんと待ち構へてゐたのである、つまり支那側のエキステーション回收强行をいたく憎んでゐた矢先であつたので、たま〳〵日本軍の行動開始に乘じて、かれての計畫を遂行せんと試みたのである、所が日本軍の行動は工部局が期待してゐたこゝに反し不幸にも疾風迅雷の如くには行かなかつたのである、だから工部局は已むを得ず右の工事を中止するに至つたのであるが同時に日本軍の行動が捗々しくないのに對し少からず悲觀し且もどかしく思つてゐる樣である、工部局總長が果して英本國のそれを反映するものであるかどうかは別として少くとも上海のイギリス人がその利害の關する限り日本軍の行動に對して突き進んだ躊躇を有することは右の一例によつても窺はれる所であらう、

▼ ▲

では米國人はどうであるかワシントン政府の對支政策がどうであらうと、上海に住むアメリカ人のすべてが必ずしも支那人の權利を擁護のみならする譯ではない、支那に長く住む米人記者の如きは寧ろ痛快だといつて日本軍の行動を是認してゐる位だ、しかし少數のアメリカ人が、日本軍の行動を大いに非難し無責任なる支那人を煽動してゐることは事實である、勿論ワシントン政府の首腦者が急遽南京に陽政府の首腦任と共に米國領事と會見のため來たのも一に米國政府のでワシントン政府の策動は今後大いに注目すべきであらう、

▼ ▲

フランス人はどうかといふに之は始めから問題にならない、此度の事件ばかりでなく共同租界における事件には大抵は仲介者としてフランス人は常に平和を辨護して來た、それよりも支那人はどうであるかが問題である、尤も支那軍と日本軍との爭鬪が起る以上一般支那人が日本軍の行動に反感を有するかといふにさうではない、否最も有力なる筋の一致した意見は結果さへよければ目障的自衞都市になつてもかまはない、此際徹底的にやつてはゐられないといふばかりかまつて居る有力なる筋さは主として實業家階級のことであるがこの種階級の要望を代表し

て日本側に意見の交換を求める政客連さへ現はれてゐる、

▼ ▲

又青幇の親分杜月笙の如きは「余は一般から便衣隊の指導者なるが如く噂せられてゐるが斯ることは斷じてない」云々とわざ〳〵各新聞に廣告し一方日本側と交渉を求めてゐる、南京政府成立以來肚裡立つ或種の運動さへ試みてゐるさうである、南京政府成立以來壓迫せられ、今まで押し上げられた上海の資産階級が今後上海を南京政府の支配外に置きたいとの希望は恐らく正直な本音であるかも知れない、要するに日本軍の行動はその目的が上海三百萬市民の安寧を齎すものである限り支那人さ雖も決して強く反感をもつものとは思はれない（二月十二日）

割當率を決定して俸給から差し引く
滿洲號獻金方法決定

われ等の飛行機「滿洲號」の獻納金募集に關し十五日午前十時から市役所會議室に民政署、滿鐵會社、學校、區長、大連、滿日兩新聞社各代表參集し協議會を開いたがその結果官吏と云はず會社員と云はず一般俸給生活者は月給五十圓未滿の者は一圓、百圓未滿の者は二圓、百五十圓未滿の者は三圓、二百圓未滿の者は五圓、二百五十圓未滿の者は七圓、二百五十圓以上の者は右累増率以外にウンと献納して貰ふ事に大體の割當を決しこれが徴收方法は勤務先の官衙なり會社なりに於て月給より差引き尙俸給生活者以外の者に對しては區長に於て適宜取纏める事とし午後零時半散會したが既報各地にもこの旨通知し同一方法に依つて募集する事にした、因に今日まで集つた獻金は八千餘圓である

藝妓をダンサーに
三業組合のホール新設計畫 實現の氣運具體化す

ダンスを藝妓に仕込んで新時代の客を迎へやうとする大連三業組合のダンスホール新設計畫は既報の通り圖面を添へて所轄大連署に認可を出願、當局で詮議中のところ最近に至り合理的資金捻出方法さへつけば許可する方針の旨内達されたので、組合ではこの穩當時機に着手し來る四月頃開場したいさ會を開き
新設ホール資金四萬圓は全組合員の連帶責任で正隆より借入れる、これが償還方法は組合員一名一ケ月十圓宛を積立て大凡五ケ年内に償還す
右の根本案を決議し改めて大連署に上申したが、許可あり次第工事に意氣込んでゐる、これで重大視された大連に於けるダンスホール問題も漸次解決の機運に向つたものと見られてゐる

小沼を收容 けふ市ケ谷に

【東京十五日發】警視廳に留置取調の結果殺人罪で起訴された井上前藏相暗殺犯人小沼正（二二）は十五日午前十時半檢事局に送られた同日檢事局取調後市ケ谷刑務所に收容される筈

安東監獄囚人 一部を釋放

在安東奉天第七監獄では奉天省政府の命により在監者三百六十二名中五十八名に對し十二日午後釋放の傳達したが身元確實なる者十八名を釋放し他の四十名は時局不安定の折柄確實なる身元引受保證人の請書を徴する事とし保證人を有せざる者に對しては縣長市警察署長並に與隊長等協議の上近日中に旅費を給し本籍地に送還し安東の治安上遺憾なきを期することゝなつた【安東電話】

貨物自動車組合 愈々陣容を整ふ
役員協定賃金を決定

新に生れた關東州貨物自動車營業組合は十三日午後一時から大連署議室で臨時總會を開會、役員選擧の結果
組合長には國際松本庄平、副組合長に昌圖戸谷庄吉、同旅順の大六山本寬吉の三氏當選しさらに理事十名、幹事二名推薦された
次で協定賃金に就き種々協議の結果大連市内は東部、中央、西部、南部、老虎灘、星ケ浦の六區に分ち、右區間内の賃金は一噸半積二圓、二噸積二圓五十錢、二噸半積三圓、三噸半積三圓五十錢となしさらに大連より甘井子、金州、旅順、三十里堡、普蘭店、貔子窩、城子疃の各地區內の協定賃金を決定し十五日大連署に許可を申請し

天氣豫報 十六日
北の風晴一時曇

各地温度

	十五日午前十一時	十四日最低
大連	零下七、一	零下四、五
旅順同	五、八同	四、三
營口同	九、八同	一五、五
奉天同	一三、〇同	一六、三
長春同	一〇、〇同	一七、三

けふの小洋相場（正午） 金百圓は一六四圓丁度

宮本選手ゴルフ決勝に進む

【ニユーオレアンス十三日發】五千弗懸賞ニユーオレアンスゴルフ競技七十二ホールオープンゴルフ競技の前半三十六ホール試合で、我宮本選手は百五十四點で後半決勝戰出場の資格を得た

宮川美子獨唱會
若く美しき世界の歌姫 得意の曲目を揃へて開催

本社主催、滿鐵社員俱樂部後援の下に來る十七、十八の兩日間協和會館に於て催される本格的オペラ歌手、リリツクソプラノ宮川美子孃の滿洲號建造基金募集獨唱會は全市民の人氣を完全に集めてしまつたが、我等の歌姫美子孃は伴奏者加納孃と共に來る十七日入港の定期船で來連することゝなり上陸當夜より協和會館のステージにバリー仕込みの美音を振ふことゝなつた、美子孃は今や全日本のあこがれの的となつてゐる關屋敏子孃外遊後の日本聲樂壇は完全に美子孃によつて贏せられてゐるのだ、美子孃のデビユーは、必ず市民の待望に滿足を與へると同時に更に強くアツピールして行くことであらう、獨唱會々員券は十六日午前九時より社員俱樂部に於て發賣されるが、普通一般は二圓、本紙到引券持参者に限り一圓五十錢であるから皆様が大いに利用されたい、尙獨唱會の曲目左の如し

第一部
スペインの薔薇……フエレ
若人へ捧ぐ……ラツセル
マンドリン……デビウシー
第二部
鐘の千草……ムール
第三部
ケンタツキーホーム……フオスター
ツバメ……デル、ラツカ
ミネトンカの湖邊……リウランス
かもめ……弘田龍太郎
叱られて……弘田龍太郎
鐘が鳴ります……山田耕作
この道……山田耕作
第四部
歌劇「蝶々夫人」より……プチニ

猪汁で舌皷を打つ

時局のため慰勞の努力を致してゐる奉天警察署員の勞苦を犒ふため本庄關東軍司令官は十四日から二日間に亘り大猪を警察署員一同に贈つた、奉天署では十四日から二日間に亘り猪汁を作つて振舞つた（寫眞は奉天署員が猪汁に舌皷を打つ署員、右端は立川署長）

滿洲軍肉彈戰

僅か十九歲の靑年が松花江橋梁爆破の決死隊に加はつて大活躍の有様見るが如く、其他大激戰キング三月號に掲載、大好評！

清水少佐遺骨 けふ大連着

ハルピン方面の戰鬪に參加して壯烈なる戰死を遂げた清水飛行少佐以下五勇士の遺骨は十五日午後四時四十五分大連驛着の列車にて着連するが、遺骨は軍始め大連市及び宗教聯合會の手に依つて直に將安寺に安置され、通夜が營まれる筈である

通行中出刃で斬らる

十四日午後六時三十分ごろ市內寺町十一番地に差しかゝるや背後より出刃庖丁で肩先に斬りつけ逃走した支那人あり大連署で目下嚴探中であるが犯人は二十歲位の靑年で痴情と見られてゐる

た、なほ今次時局に際し軍部に提供されて不完全なるものが多かつたので、戰地に於て機能を發揮することが出來ず軍部のパトツクに比し著しく不完全なるものが多かつたのに鑑み、今回關東廳警務局長から警告があつた件に對して自動車の改善、技術の向上に努力し業界發展に資せんことを申合せた

武門血笑記 (55)

下村悦夫作　市施長春挿畫

京洛の春（五）

源之丞と作樂は、何處ともなく京の町外れの田舍道を歩いてゐた。もう夜明に近いのであらう、遠方の百姓屋では、一番鷄が時を作つてゐた。見廻り組の者を手に懸けた以上、其の邊に愚圖々々してゐる事は出來ない。と云つて、お互に自分の住家を知られ度くないらしい二人は、どちらが先に立つともなく、こんな處まで來てしまつたのである。

「では、貴公、まだ陣野氏が仇討に出てゐる事を知らないのか」

と、作樂。

「陣野……と云ふと？」

「無論穢馬ぢや」

「何に？穢馬が……」

と、源之丞は、世にも意外なと云ふ面持であつた。

作樂はぢろりと、源之丞の顏を見て

「ほう、ほう、貴公はまだ何もかも知らぬのぢやな。露木氏、貴公が手にかけたのは、穢馬ではなく兄の辰馬だつたのだ」

「えッ、辰馬！」

「さうぢや……」

「矢張り、さうだつたのか……」

と、源之丞は呻くやうな力の無い聲で云つた。彼の淀みきつた心は、今その餘りに意外な自分の不覺を知らされても、事の意外に驚くより外に、それ程の深い感慨もないらしい。

「こゝいらまで來れば、もうよからう、彼方の森蔭へでも行かう」

と、作樂は歩みを止めて、路から少し離れた黑い森蔭を指した。

で、二人は路を横に外れて、小さな社の後ろにある、森蔭へ入つて、腰を下した。

「處で、露木氏、貴公は今でもあのお蘭と一緒にゐるのか？」

「…………」

「いや、これは聞くまい。が、友人として聞くのぢやが、貴公、今後どうしや

……と云ふよりも、今後どうしやうと思つてゐられるのだ」

と、作樂は、薄暗い闇の中で、源之丞の窶れた顏を、思ひやりの深い目で、ぢつと眺めた。

「白井氏、拙者の事は、もう何も聞いて異れるな、貴公の友達であつた事も忘れて異れ……」

源之丞は、自分の空虛な心の底に滲み込んで來る、若い友情を拒むかのやうに、外つぽを向いて云つた。

「さうか、それなら聞くまい。が時にあたら男を、泥沼の中に腐らすのはもつたいないと思はぬか」

「…………」

「腐らす位なら、陣野達に討たれてやる氣はないか」

が、源之丞は、身動きもせず項垂れたまゝ、口を開かうともしなかつた。

東の方が、いつの間にかうつすらと白みかけて、あちらこちらで時を告げる鷄の聲が、けたゝましく續いた。

「では露木氏、これでお別れする事に致さう……」

作樂は、感慨深さうに、こう云ふと、靜かに立ち上つた。

「白井氏、待つてくれ、拙者から聞かう／＼と思つてゐたのだが、貴公達が、どうしてこんな處へ來てゐるのだ」

と、源之丞は、何となく別れを惜むやうな樣子。

「拙者は、勤王方として、新らしく生きる爲めに、舊い一切に一先づ別れて來た。大海の一粟にも足らぬ身ぢやが、天人一如の大道の爲めに、この一身を捧げる覺悟ぢや、では失禮……」

作樂は、われ知らず、心持ち肩を聳やかすやうにして、昂然とこう云ひはなつと、靜かに歩き出した。

源之丞は、顏も上げないで、暗い大地を、ぢつと凝視しつゞけてゐた。

關東浪曲大會 二日目演題

十四日より大連で開演した關東浪曲大會は久し振りの大家揃ひで俄然大入り滿員であつたが、特に天中軒月子孃は師匠雲月を凌駕する程であると好評を博してゐた、尚二日目演題左の如し

一、義烈百傑（桃中軒雲[illegible]）一、槍の權三郎（桃中軒白王丸）一、竹川盛太郎（春日亭一鶴）一、乃木將軍（桃中軒白雲）一、幡隨院長兵衛（東武藏）一、安中草三郎（[illegible]甲齋左虎丸）一、忠僕直助（東家樂遊）一、日本開國史（桃中軒雲右衛門）一、二人令孃（春日亭清[illegible]）一、元祿二ッ巴、[illegible]（天中軒月子）

噂話

きのふ埠頭に上陸してから「やア／＼」と肩をたゝく學校友達が多いので廣瀬恆美スッカリいゝ氣持になつて星ヶ浦ホテルでは岡部平太氏に會つた▲一行は今夜の列車で赴奉し、同地を中心にロケして錦州には飛行機で日歸りで行く豫定らしい▲檢番のダンス問題も愈々具體化し、昨日の船でダンスのお師匠さんが二人來連したので▲けふ女紅場で接觸員と顏つなぎがあるといふが、從來の見物だらうと噂とり／＼

女給と強盜

可憐な映畫劇場の女給が戀した男は恐るべき紳士強盜だつたといふクララ・ボウの涙への轉換映畫で相手役はノーマン・フォスター、監督はフランク・タットルでパ社發聲日本版作品【次週常盤座上映】

世界の歌姫 宮川美子孃を迎へる

（四）村岡樂童

お父樣お母樣萬一私が成功して世界的歌手として立つ日が來ましたら是非一度私はあこがれの日本の祖國へつれて歸つて下さる？」彼女の念願は世界の歌姫としての錦を着て故國日本へ歸ることであつたアメリカで生れアメリカで育つた彼女には故國の美しい景色や、未だ見ぬ友達がどんなにか憧れの的となつて居たか、おゝよろしいともその時こそはお父樣もお母樣も一緒に懷しい日本の土を踏みませう、それまではお前は一生懸命に勉強するのですお父樣はお前の健かな成長と勉強とを知るに飽きることはないどうぞ良い優れた歌手となつてくれ、これは彼女が巴里への出發の際に父君なる常三郎氏の愛嬢への餞の言葉であつた、きつと世界の歌手となります、どうぞお父樣御安心下さいまし彼女は凛として答へた、おゝ華やかな紅顏も健氣な鹿島立ち……巴里へは母君の小春夫人が同伴して勉強中の面倒を見ることゝなつた

愈々彼女の輝かな修業の旅が始まつたアメリカ大陸を東へ東へと橫切つて行く／＼デンバー、ソートレーキ、ワシントン、ニューヨーク等の大都市で盛なリサイタルは次々に催された彼女の得意とする著名な西歐樂曲の間に弘田龍太郎氏や山田耕作氏作曲の日本小曲を唄ひ又は歌謠花車などを三味線に合せて唄つたがまだ見ぬ日本へのあこがれが期せずして彼女の旋律と所作との上に一しほの可憐さとしほらしさとを加へその演出は素晴らしい神々しいものであつた聽衆に惜賞し加州の代表として許された歌姫の名に恥じないものとして驚く日人間に非常なセンセーションを捲き起した殊にニューヨークとワシントンではオウエン夫人の斡旋で民主黨婦人大會の席上に出演の榮を得た、ナショナルオペラ會社長アルビン氏は「將來歌劇の舞臺で活躍し得る望み十分」との折紙をつけ氏と親交ある巴里の著名な音樂家達に宛て數通の紹介狀を認めて與れた、その中にはフランスの有名なオペラ、コミツクのテナー歌手カピターニ氏に宛てたものもあつた斯くして愈々彼女はニューヨーク埠頭を後にハドソンの下流にある憧れの平和の女神像に別れを告げて花の巴里へと急いだのであつた